



# コンソールの設定



m:  
<https://pandorafms.com/manual/!779/>  
manent link:  
[https://pandorafms.com/manual/!779/ja/documentation/pandorafms/management\\_and\\_operation/12\\_console\\_setup](https://pandorafms.com/manual/!779/ja/documentation/pandorafms/management_and_operation/12_console_setup)  
5/01/22 19:13



# コンソールの設定

[Pandora FMS ドキュメント一覧に戻る](#)

このセクションでは、Pandora FMS コンソールの動作パラメータを変更および調整できます。これは、コンソールの全体的な動作に影響します。

管理(Management) → セットアップ(Setup) → セットアップ(Setup) セクションには、以下で説明するすべての設定オプションがあります。

## セットアップ

### 一般設定

重要なフィールド:

- リモート設定ディレクトリ(Remote configuration directory): エージェントのリモート設定が保存されるデフォルトディレクトリを指定するフィールド:

```
/var/spool/pandora/data_in
```

- Chromium パス(Chromium path): chromium のパスを入力します。Chromium はPDF でグラフを動的に生成するために使用される特別なコンポーネントです。
- 自動ログイン (hash) パスワード(Automatic login (hash) password): ハッシュを作成し、URL を通して自動認証を行えるようにするためのパスワードを定義します。これは、他の Web アプリケーションから Pandora へユーザ名とユーザ名を元に生成したハッシュを使ってアクセスするために使います。このパスワードにより、パスワードを入力することなく Pandora FMS への自動認証をすることができます。この設定例は、Pandora FMS コンソールの /extras/sample\_login.php を参照してください。
- 日時データソース(Time source): 日時データをデータベースもしくはシステムのどちらから取得するかを選択します。データベースがコンソールと異なるマシンで動作している場合は、データベースを選択します。
- 添付ファイルの保存場所(Attachment directory): Pandora FMS コンソールファイル ディレクトリ。コレクション、イシューの添付ファイル、およびその他の一連のファイルを置くために使用されます。Web サーバへの書き込み権限が必要です。デフォルトでは次の場所にあります。

```
/var/www/pandora_console/attachment
```

- httpsの利用(Enforce https): アクセスアドレスを強制的に https にリダイレクトします。これを設定した場合 Pandora FMS で利用する Web サーバで https を有効にする必要があります。

このフィールドを有効にした状態で、Apache が HTTPS を使用するよう設定されていない場合は、WEB コンソールにアクセスできなくなります。その場合は、MySQL を介してデータベースに直接アクセスし、次のクエリを挿入してこのオプションを再度無効にする必要があります。

```
UPDATE tconfig SET `value` = 0 WHERE `token` = 'https';
```

- 自動アップデートチェック(Automatic check for updates): オープンアップデートマネージャで、自動的にアップデートチェックを行うかどうかを設定します。これを設定すると、毎時 Pandora FMS の更新サイト (Pandora FMS SL) へ接続し、Pandora FMS の利用情報 (エージェントの数) を送信するようになります。
- API パスワード(API password) : Pandora API アクセスのための認証方法です。詳細は、[Pandora FMS 外部 API](#)を参照してください。
- APIアクセスを許可するIPアドレスリスト (IP list with API access): これはPandora FMS ウェブサービス API へのアクセスを許可する IP アドレスのリストです(デフォルトは 127.0.0.1 でローカルホストのみのアクセスです)。任意の IP アドレスを許可する場合は、\* を設定します。サブネット 125.56.24 からのアクセスを許可するのであれば 125.56.24.\* を設定します。
- GIS 機能を有効にする(Enable GIS features): Pandora FMS コンソールで GIS 機能を有効 無効化します。詳細は、[GIS コンソール](#)を参照してください。
- Netflow を有効にする(Enable Netflow): [Netflow](#) を有効化/無効化します。
- 一般的なネットワークパス(General network path) (バージョン 770 以降): netflow および sflow のデータが保存されるディレクトリです。
- サーバタイムゾーン設定(Server timezone setup): コンソールが配置されているタイムゾーンを定義します。すべての国のコード/略語(ISO 3166)とは異なり、タイムゾーンのリストには複雑な基準があります(IANA [タイムゾーンデータベース](#))。そのため、最初のリストがあります。大陸/国が含まれており、オプションを選択すると、2番目のリストが更新され、具体的に国/都市を選択できます。テキストボックス タイムゾーン設定(Timezone setup) は、更新(Update) をクリックするまで変更されません。
- 公開 URL(Public URL): 公開 URL を設定できます。リバースプロキシがある場合、またはたとえば Apache の mod\_proxy モードを使用している場合は、このフィールドに入力すると便利です。
- インベントリ変更ブラックリスト(Inventory changes blacklist): 拒否リストに含まれるインベントリモジュールは、変更が発生してもイベントを生成しません。
- サーバログディレクトリ(Server log directory): サーバログが保存されるディレクトリ。
- イベントストーム保護(Event storm protection): “はい” に設定するとイベントやアラートが生成されません。ただし、エージェントのデータ受信は続きます。
- コマンドラインナップショット(Command line Snapshot): 文字列モジュールで複数行のものが、コマンド出力として画像表示されます。
- リモートコンフィグのエンコーディング変更(Change remote config encoding): デフォルトではリモート設定ファイルに UTF-8 エンコーディングでモジュール設定を書き込みますが、これを有効にすると設定ファイル自体に指定されているエンコーディングに変換して書き込みます。
- リファラーセキュリティ(Referrer security): 有効にすると、ユーザが Pandora FMS URL からアクセスしていること、リンクが外部リンクではないこと、つまり疑わしいリンクかのアクセスではないことがセキュリティチェックされます。デフォルトでは無効になっています。特に検証されるセキュリティは次のとおりです。
  - DB マネージャ拡張
  - ユーザ設定
  - 自動検出スクリプト設定
- 過去の計画停止作成を許容する(Allows create planned downtimes in the past): 過去の計画停止作成を有効または無効にします。この目的は、[SLA レポート](#) の情報を変更することです。
- 一括操作制限(Limit for bulk operations): 一度の一括操作で修正可能な要素の制限です。
- 手動で無効化したエージェントを含める(Include manually disabled agents): 特定のコンソール表示で手動で無効化されたエージェントの表示を有効または無効にすることができます。
- エージェント作成時にデフォルトで別名を名前として設定する(Set alias as name by default in agent creation): このパラメータを有効にすると、エージェント作成メニューの選択ボックスでフォームに入力された別名がエージェント名として保存されます。デフォルトは有効です。
- ユニーク IP (Unique IP): このパラメータを有効にすると、エージェントの作成や編集において重複した IP を防ぐ表示が出ます。
- モジュールカスタム ID 参照のみ(Module custom ID readonly): このパラメータを有効にすると、エージェントのモジュールのカスタム ID をコンソールから編集できなくなりますがCLI および API からは編集できます。これは、ユーザがこの値を変更できないようにしての自動サードパーティ統合に役立ちます。
- コンソールログの有効化(Enable console log): 有効化すると、コンソールのイベントの記録に

/var/log/php-fpm/error.log ファイルが使われます。

EL8 (Enterprise Linux 8)を使用している場合は、コンソールログを有効にするを有効にする以外に、ファイルを変更する必要があります。

```
/etc/php-fpm.d/www.conf
```

次のパラメータをセミコロンでコメントします。

```
;php_admin_value[error_log] = /var/log/php-fpm/www-error.log
```

この方法では、データは .../pandora\_console/log/console.log に保存されます。

- 監査ログの有効化(Enable audit log): 有効化すると、監査ログとして .../pandora\_console/log/audit.log ファイルが利用されます。
- コンソールレポートの有効化(Enable console report): (バージョン NG 764 以降) レポート専用モードのコンソールを有効化します。詳細は、[レポート専用コンソール](#)を参照してください。
- 接続チェック間隔(Check connection interval): (バージョン NG 770 以降) データベースサーバへの接続をチェックする時間間隔(秒単位)。デフォルトは 180、最小値は 60 です。
- 追加 ID を持つ新規イベントを処理中状態にする(Keep In process status for new events with extra ID): (バージョン NG 771 以降) 特定の追加 ID を持つ “ 処理中 ” のイベントがあり、その追加 ID を持つ新規イベントを受信した場合、 “ 処理中 ” として作成されます。
- フィードバックの有効化(Enable Feedback): デフォルトで有効になっており Web コンソールの [ヘッダー](#) に直接アクセスして、エラーを通知し、インストールデータを含めることができます。
- キュー内のモジュールの数(Number of modules in queue): キューに入れられるモジュールの最大数 (デフォルトでは 500) を設定し、この値を超えると、サーバ管理の各項目に警告アイコンが表示されます。
- 追加 ID を持つ新規イベントを処理中状態にする(Keep In process status for new events with extra ID): 特定の追加 ID を持つ “ 処理中 ” のイベントがあり、その追加 ID を持つ新規イベントを受信した場合、 “ 処理中 ” として作成されます。新しいイベントもイベントから追加 ID を継承します。

## NCM 設定

- FTP サーバ IP(FTP server IP): [ネットワーク機器テンプレート](#) 内の FTP サーバの IP アドレス。

## レポート専用コンソール

### バージョン NG 764 以降

レポート専用コンソールの重要な役割は、Pandora FMS データベース (メインおよびヒストリ) から抽出されたデータに基づいて、数百のエージェントとソフトウェアエージェントのレポートを準備し、有用な情報に変換し、生成、保存、送信することです。この目的のために、ソフトウェアとハードウェアの両方の側面から事前に設定されています。

- PHP 用のメモリ (仮想または物理メモリ) は、必要に応じて、コンピュータが持つ最大量を使用できる必要があります。そうでない場合は、不足している旨の通知がタイムリーに表示されます。設定の詳細については、[インストールを参照してください](#)。
- **一般設定** の **コンソールレポート** を有効にする (Enable console report) オプションで、レポート専用コンソールモードを有効にします。
- レポート専用のコンソールを使用するには、config.php ファイルに次のパラメータを追加する必要があります。

```
$config["reporting_console_node"] = true;
```



- 管理者ユーザのみが、レポート専用のコンソールにログインできます。
- メニューオプションは、特に Pandora FMS ソフトウェアアップデートの場合、重要な操作に限定されます。同じデータベースに接続された別の Web コンソールを介して他のすべてを設定する必要があります。必ず [email 設定セクション](#) を確認してください。

## Email 設定

以下は、Gmail® SMTP サーバを使う設定例です。

Mail configuration

From address	From name
<input type="text" value="example@pandorafms.com"/>	<input type="text" value="Pandora FMS"/>
SMTP Server	SMTP Port
<input type="text" value="smtp.gmail.com"/>	<input type="text" value="465"/>
E-mail user	E-mail password
<input type="text" value="example@pandorafms.com"/>	<input type="password" value="....."/>
Encryption	
<input type="text" value="SSL"/>	

E-mail test  Update 

Gmail® アカウントを使用する場合、Google® は特定のアプリケーションによる認証試行をブロックすることがあります。そのため、正しく動作させるには、安全でないアプリケーションへのアクセスを有効にする必要があります。これを行う方法の詳細については、Google® の公式サポートページをご覧ください。

セキュリティのため、Pandora FMS サーバからの通知メッセージを送信するために特別に作成した Gmail® 電子メールアドレスを使用してください。この目的に個人用の電子メー



ルアカウントを使用しないでください。

必要に応じて、ファイル `/etc/pandora/pandora_server.conf` 内のトークン `mta_auth` を変更します。このトークンは、デフォルトではコメントアウトされるため、この行を編集して必要な認証タイプを設定することで有効化する必要があります。詳細については、[このリンク](#) を参照してください。

電子メール設定を保存したら、電子メールテスト オプションをクリックして Pandora FMS によって自動的に生成された電子メールを目的の電子メールアドレスに送信し、設定が正しいかどうかを確認できます。選択した設定が正しい場合にのみ、受信トレイに電子メールが表示されます。

Pandora FMS サーバが、DNS サーバを介して、電子メールドメインを担当するメールサーバの名前解決ができることを確認します。

```
nslookup -type=mx my.domain
```

この場合も、電子メールサーバが Pandora FMS サーバから送信された電子メールを受け入れることを確認してください。

詳細については、[Pandora FMS サーバの設定](#) を確認してください。

## パスワードポリシー

パスワードポリシーを有効にするには、管理者プロファイル (Pandora 管理者) を持っているか、[スーパー管理者](#) である必要があります。

管理(Management) → セットアップ(Setup) → セットアップ(Setup) → パスワードポリシー(Password policy) で設定します。

重要なフィールド:

- パスワードポリシーの有効化(Enable password policy): パスワードポリシーを有効化/無効化します。デフォルトでは無効化されています。
- 最小パスワードサイズ(Min. size Password): パスワードの最小の長さです。デフォルトでは 4文字です。
- パスワードの期限切れ(Password Expiration): パスワードが期限切れになるまでの期間です。デフォルトでは 0 です(期限切れになりません)。
- ログインに失敗するとユーザをブロック(User blocked if login fails): 最大失敗回数パスワードを間違えた場合に、ユーザをブロックする時間(分)です。デフォルトは 5分です。
- ログイン失敗回数(Number of failed login attempts): ログイン失敗許容回数です。デフォルトは 5回です。
- 以前のパスワードとの比較(Compare previous password): パスワード変更時にいくつ前のパスワードと同じものを受け入れないかの設定です。デフォルトは 3 です。
- パスワードには数値を含む必要があります(Password must have numbers): パスワードに数字を含む必要があるかどうかです。デフォルトでは無効化されています。
- パスワードには記号を含む必要があります(Password must have symbols): パスワードに記号を含む必

要があるかどうかです。デフォルトでは無効化されています。

- 初回ログイン時にパスワードを変更する(Force change password on first login): ユーザ作成後、初回ログイン時にパスワードを変更します。デフォルトでは無効化されています。
- 管理者ユーザへパスワードポリシーを適用(Apply password policy to admin users): 管理者ユーザにもパスワードポリシーを適用します。デフォルトでは無効化されています。
- パスワード履歴の有効化(Enable password history): パスワード履歴の有効化/無効化です。デフォルトでは無効化されています。
- パスワードの除外リスト(Exclusion list for passwords): Pandora FMS での使用を明示的に除外するパスワードのリストを追加できます。

## Enterprise

- メタコンソール接続状態(Metaconsole link status): メタコンソールが有効かどうか接続状態を表示します。詳細は、[メタコンソールのインストールと設定](#)を参照してください。
- SNMP トラップのエージェント(存在する場合)への転送 (Forward SNMP traps to agent (if exit)): SNMP トラップとエージェントを関連付けることができる設定です。このオプションを有効にすると、エージェントと同じ IP アドレスでトラップが受信されると、その同じエージェントに SNMPTrap という名前と async\_string タイプのモジュールが作成されます。モジュールの値は、最後に受信した OID の値になります。つまり、新しいトラップの到着とともに更新されます。はい、ステータスを変更(Yes and change status) を選択した場合、トラップの受信時に値が更新されるだけでなく、モジュールは障害状態に変わります。正常状態に戻るには  SNMP コンソールからそのエージェントに関連付けられているすべてのトラップを承諾または削除する必要があります。はい、ステータスを変更しない(Yes without changing status) を選択した場合は、モジュールの値のみが変更されます。
- Enterprise ACL システムの利用(Use Enterprise ACL System): 通常の ACL システムよりも柔軟な、エンタープライズ ACL システムを有効にします。詳細は、[Enterprise ACL システム](#)を参照してください。
- コレクションサイズ(Collection size): 最大コレクションサイズを設定します。詳細は、[ファイルコレクション](#)を参照してください。
- アップデートマネージャの有効化(Enable Update manager): [ワークアップデートマネージャ](#)オプションを有効化します。
- レガシ  HA データベース管理(Legacy HA database management): (バージョン 770 以降) デフォルトでは無効です。pandora\_ha で制御される [HA システム](#)を有効化できます。
- 占有アドレスの障害しきい値(Critical threshold for occupied addresses): [IPAM](#) 拡張において、占有アドレスの障害範囲のスーパーネットマップにしきい値の設定です。
- 占有アドレスの警告しきい値(Warning threshold for occupied addresses): [IPAM](#) 拡張において、占有アドレスの警告範囲のスーパーネットマップにしきい値の設定です。

## ヒストリデータベース

この機能により、メインのデータベースとは異なるデータベースに設定された期間でデータを保存し、メインのデータベースの利用を高速化できます。

メニューから [管理\(Management\)](#) → [セットアップ\(Setup\)](#) → [セットアップ\(Setup\)](#) → [ヒストリデータベース\(Historical database\)](#)を選択し、[ヒストリデータベースを有効にする\(Enable historical database\)](#) ボタンを押して[接続設定 \(接続ターゲットの設定\(Configure connection target\)\)](#) にアクセスします。フィールドに入力してヒストリデータベースに接続したら、[カスタムパラメータを入力します \(設定のカスタマイズ\(Customize settings\)\)](#)

- 高度なオプション:
  - アクティブデータベースの文字列データの保持日数(String data days old to keep in active)



database): ここで指定した日数だけ、文字列データがメインのデータベースに保存されます。古い情報はヒストリデータベースに送信されます。0日(デフォルト値)が経過すると、メインのデータベースからデータが消去されることに注意してください。

- アクティブデータベースの保持日数(Data days old to keep in active database): ヒストリデータベースに転送される前に、メインのデータベースに保存される最大日数。デフォルトは15日です。
- 転送ブロックサイズ(ステップ)(Transference block size (Step)): ヒストリデータベースへのデータ転送データバッファの大きさです。数が小さいほど、メインデータベースのパフォーマンスへの影響は少なくなります。デフォルト値は1500で、推奨値は1000です。設定の際には、次のポイントを考慮してください。
- 転送の間の遅延(秒)(Delay between transferences (seconds)): メインのデータベースとヒストリデータベースの間のデータブロック転送待ち時間(秒単位)です。デフォルトは1で、推奨は2です。
- 最大ヒストリデータ保持日数(日)(Maximum historical data age (days)): 数値データの最大保存日数です。デフォルトは180です。
- 最大文字列ヒストリデータ保持日数(日)(Maximum historical string data age (days)): 文字列データの最大保存日数です。デフォルトは180です。
- 大きなテーブルの自動パーティション(Automatic partition of big tables): 特定のデータベース IDB ファイル(tagente\_datosおよびtagente\_datos\_string)に月次パーティションを自動的に作成します。
  - アクティブデータベースでのイベント保持日数(Events days old to keep in active database): ヒストリデータベースへイベントを移し始める日数。デフォルトは90日です。メインデータベースでは、データは7日ごとにページされることに注意してください。
  - ヒストリデータベースでの最大イベント保持日数(日)(Maximum historical events age (days)): ヒストリデータベースからイベントを最終的に削除する日数。デフォルトは180です。

## ログ収集

メニュー 管理(Management) → セットアップ(Setup) → セットアップ(Setup) → ログ収集(Log collector) (OpenSearch)  “[ログの監視と収集](#)” の説明に従って設定する必要があります。

## 認証

以下のフィールドはすべてのオプションに共通です。

- セッションタイムアウト制御(Control of timeout session): デフォルトで有効になっており、セッション時間(分)で設定された期間内にアクティビティがあったかをチェックしてセッションを閉じます。
- セッション時間(分)(Session time (mins)):
  - デフォルト値は90分です。ユーザに対してこの値を0に設定すると  Pandora FMS は一般設定の認証セクションに保存された値を使用します。

## Pandora FMS ローカル

Pandora FMS 内部のデータベースを使用して実行するデフォルトの認証です。セキュリティのため、スーパー管理者タイプのユーザは常にこの方法で認証され、その他の認証タイプにはローカルバックアップ(フォールバック)オプションがあります。

## アクティブディレクトリ

- リモートユーザの自動作成(Automatically create remote users): リモートユーザの自動作成を有効または無効にします。このオプションを使用すると  Pandora FMS は LDAP ユーザを使ってログインした

後に自動的にユーザを作成することができます。次の3つのフィールドは、自動作成が有効の場合のみ表示されます。

- パスワードの保存(Save Password): このオプションは、Pandora FMS バージョン 750 以降にあります。有効化するとAD パスワードを Pandora FMS ローカルに保存できます。プロファイルの自動作成(Automatically create profile)
- 高度な AD 設定(Advanced Configuration AD): このオプションを有効化すると、高度な AD 権限設定が利用されます。
  - 高度な AD 権限(Advanced Permissions AD): 新しい権限の追加で追加された高度な権限を一覧表示します。
- プロファイルの自動作成(Automatically create profile): ユーザの自動作成が有効になっている場合、このフィールドを使用して、自動作成されたユーザに特定のプロファイル タイプを割り当てることができます。デフォルトのプロファイルは、Chief Operator, Group Coordinator, Operator (Read), Operator (Write) および Pandora Administrator です。プロファイル プロファイル管理 から、さまざまなプロファイルを確認できます。
- プロファイルグループの自動作成(Automatically create profile group): ユーザの自動作成を有効にすると、このフィールドでユーザをグループに割り当てることができます。さまざまなグループは、プロファイル(Profiles) → エージェントグループの管理(Manage agent groups) で確認できます。
- プロファイルタグの自動作成(Automatically create profile tags): リモートユーザの自動作成が有効な場合、このフィールドを使用して目的のタグをグループに割り当てることができます。利用可能なさまざまなグループは、プロファイル(Profile) → モジュールタグ(Module tags) で確認できます。
- ブラックリストの自動作成(Autocreate blacklist): 自動で作成したくないユーザのカンマ区切りの一覧です。
- アクティブディレクトリサーバ(Active directory server): ここでActive Directory サーバが配置されているパスを定義します。
- アクティブディレクトリポート(Active directory port): アクティブディレクトリサーバのポートです。(デフォルトは 389)
- TLS の開始(Start TLS): クライアントとサーバの間の通信で、Transport Layer Security (TLS) プロトコルの利用を ON/OFF します。
- セカンダリ Active Directory の有効化(Enable secondary active directory): セカンダリ Active Directory サーバへの接続を有効化できます。プライマリサーバと同じフィールドがありますが、検索有効期限 (AD 検索タイムアウト(AD search timeout)) の設定もサポートされており、デフォルト値は 5 秒です。
- 二段階認証(Double authentication): バージョン 6.0 以降、このオプションを有効にすると、ユーザが自身のアカウントで二段階認証を有効にできるようになりました。ユーザアカウントで二段階認証を有効にする方法についての詳細は、[こちらの章](#)を参照してください。この機能を使用するには、サーバとモバイル デバイスの日付と時刻が同期され、可能な限り正確である必要があります。
- ユーザのパスワードが変更された場合MS Windows® ではActive Directory のデフォルトで 60 分間古いパスワードを使用できます。これは Windows の設定であるためPandora FMS ではまったく想定されていない動作です。変更したい場合は、[Microsoft](#) のドキュメントを参照してください。
- ドメイン(Domain): Active Directory が使用するドメインを定義します。
  - 現時点では、ユーザのプライマリグループは AD 認証の高度なグループ設定ではサポートされていません。
  - 高度な AD 設定(Advanced Configuration AD) を使用している場合は、ドメインフィールド (ドメイン(Domain)) に必ずフルパスを設定してください。
  - Active Directory のインストールが LDAP を使用している場合は、通常、サーバが配置されている LDAP パスをここで定義する必要があります。

```
ldap:addc.mydomain
```

## LDAP

- このモードを使用するにはopenLDAP の依存ファイルがインストールされている必要があります。
- 使用するオペレーティングシステムに応じて、次のようなコマンドを使用します: `yum install`

openldap\* または apt install ldap-utils

### 重要なフィールド:

- ローカル認証にフォールバック(Fallback to local Authentication): このオプションを有効にすると LDAP リモート認証が失敗した場合に、ローカル認証にフォールバックします。管理者ユーザは、リモート認証システムに障害が発生した場合でも Pandora FMS へのアクセスを失わないように、常にフォールバックが有効になります。
- リモートユーザの自動作成(Autocreate remote users): リモートユーザの自動作成を有効化/無効化します。このオプションで、LDAP を使ってログインしたユーザを自動的に作成できます。
- LDAP 機能(LDAP function): LDAP を検索するときには PHP のネイティブ機能を使うか ldapsearch コマンドを使うかを選択できます LDAP に多くの要素がある環境では、ローカルコマンドを利用することをお勧めします。

### 高度な LDAP 設定

- このオプションを有効にすると、保存されているすべての高度な権限のリストが表示されます。属性フィルターの横にあるプロファイル、グループ、タグを選択すると、新しい権限を追加できます。ユーザがこれらの属性のいずれか (特定の組織単位またはグループなど) を満たしている場合、ユーザが作成されます。
- このオプションが有効になっていない場合は、ユーザプロファイルを作成するためのシンプルなシステムが使用されます (プロファイルを自動的に作成  プロファイルグループを自動的に作成  プロファイルタグを自動的に作成  階層なしで自動的に割り当て

属性は次の形式である必要があります: Attribute\_Name = Attribute\_Value

- セカンダリ LDAP の有効化(Enable secondary LDAP): セカンダリ LDAP サーバをバックアップとして有効にすると、プライマリ LDAP サーバのそれぞれのフィールドが表示されます。
- 二段階認証(Double authentication): ユーザは、**自分のアカウントで 2 段階認証を有効にするかどうか**を選択できます。この機能を使用するには、サーバとモバイルデバイスの日付と時刻が同期され、可能な限り正確である必要があります。

### 二段階認証

ユーザは自分のアカウントで二段階認証を有効にするかどうかを選択できます。

この機能を使用するには、管理者は Pandora FMS コンソールのグローバル設定の認証セクションで二段階認証を有効にする必要があります。また、所有するモバイルデバイスにコード生成アプリケーションがインストールされている必要があります。ダウンロード場所とダウンロード方法については、次のリンクを参照してください。

<https://support.google.com/accounts/answer/1066447>

この機能を使用するには、サーバとモバイルデバイスの日付と時刻が同期され、可能な限り正確である必要があります。

すべてのユーザに対して二段階認証を強制する(Force 2FA for all users is enabled)

このオプションを有効にすると、すべてのユーザが 2 段階認証を使用するよう強制されます。

グラフィカルインターフェイスを使用せずにこの機能を無効にするには、[管理者にて PFMS CLI を使用できます](#)□

## SAML

SAML 設定については、[こちらの章](#)を参照してください。

## パフォーマンス

Pandora FMS のパフォーマンスは、次のセクションで調整するさまざまな要因の影響を受けます。メニューの [管理\(Management\)](#) → [セットアップ\(Setup\)](#) → [パフォーマンス\(Performance\)](#) に移動します。

### データベースメンテナンス状態

- pandora\_db がデータベースに対して実行中(Pandora\_db running in active database): “pandora\_db” が実行中かどうかと最新の実行時間を表示します。12時間以上実行されないと障害状態としてマークされます。
- pandora\_db がヒストリデータベースに対して実行中(Pandora\_db running in historical database): このパラメータは、Pandora FMS にヒストリデータベースが設定されている場合にのみ表示されます□“pandora\_db” がヒストリデータベースに対して実行中かどうかと最新の実行時間を表示します。12時間以上実行されないと障害状態としてマークされます。

### データベースメンテナンスオプション

メニュー [管理\(Management\)](#) → [セットアップ\(Setup\)](#) → [パフォーマンス\(Performance\)](#)□

- イベントデータ保持日数(Max. days before delete events): イベントを保存する最大日数です。
- トラップデータ保持日数(Max. days before delete traps): [SNMP トラップ](#)を保存する最大日数です。
- 監査イベントデータ保持日数(Max. days before delete Audit Events): 監査イベントを保存する最大日数です。
- 文字列データ保持日数(Max. days before delete String Data): 文字列データを保存する最大日数です。
- GIS データ保持日数(Max. days before delete GIS Data): GIS データを保存する最大日数です。
- データ保持日数(Max. days before Purge): データを保存する最大日数です。このパラメータは、インベントリデータの最大保持日数としても利用されます。
- データ保持日数(丸め込みなし)(Max. days before data is compacted data ): [データを圧縮するまでの最大日数](#)。値を低く設定すると、pandora\_db プロセスのパフォーマンスに悪影響を与える可能性があります。圧縮を無効にするには、0 を設定します。
- 不明モジュール保持日数(Max. days before unknown modules are deleted): 不明モジュールを保持する



### 最大日数 **ポリシー内にある場合を除く** □

- 未初期化モジュール保持日数(Max. days before delete not initialized modules): 未初期化モジュールを保持する最大日数を指定します。
- 自動無効化エージェント保持日数(Max. days before autodisabled agents are deleted) : 自動で無効化されたエージェントを削除せずに保持する日数を指定します。
- 過去の特別日の保持期間(Retention period of past special days): このフィールドに指定した日数よりも古い過去の特別日を削除します。
- 最大マクロデータフィールド(Max. macro data fields): **アラート**に利用可能な最大マクロ数を定義します。
- 古いメッセージを保持する最大日数(Max. days before delete old messages): 受け取ったメッセージを削除せずに保持する日数を定義します。
- インベントリデータを保持する最大日数(Max. days before inventory data is deleted): インベントリデータを削除せずに保持する日数を定義します。
- 無効なエージェントを保持する最大日数(Max. days before disabled agents are deleted): 無効なエージェントが削除せずに保持する日数 (デフォルトは 0 で削除されない)。

## ヒストリデータベースメンテナンスオプション

これらのパラメータは、Pandora FMS でヒストリデータベースが設定されている場合にのみ表示されます。

- データ保持日数日数(Max. days before purge): データ保持最大日数です。
- データ保持日数(丸め込みなし)(Max. days before compact data): 丸め込み無しでデータを保存する最大日数です。
- データ縮小時の丸め込み単位時間 (1□20)(Compact interpolation in hours (1 Fine-20 bad)): これは、丸め込みを行う時間単位です。たとえば、5分間隔で実行されるモジュールは、1日に 288個のデータを生成します。丸め込み間隔を 2に設定すると、データは 2時間ごとの平均になります。結果、1日 288個のデータが 12個になります。この値が大きいほど精度が低くなります。1に近い値をお勧めします。
- イベントデータ保持日数(Max. days before delete events): イベントを保存する最大日数です。
- 文字列データ保持日数(Max. days before delete string data): 文字列データを保存する最大日数です。

## その他

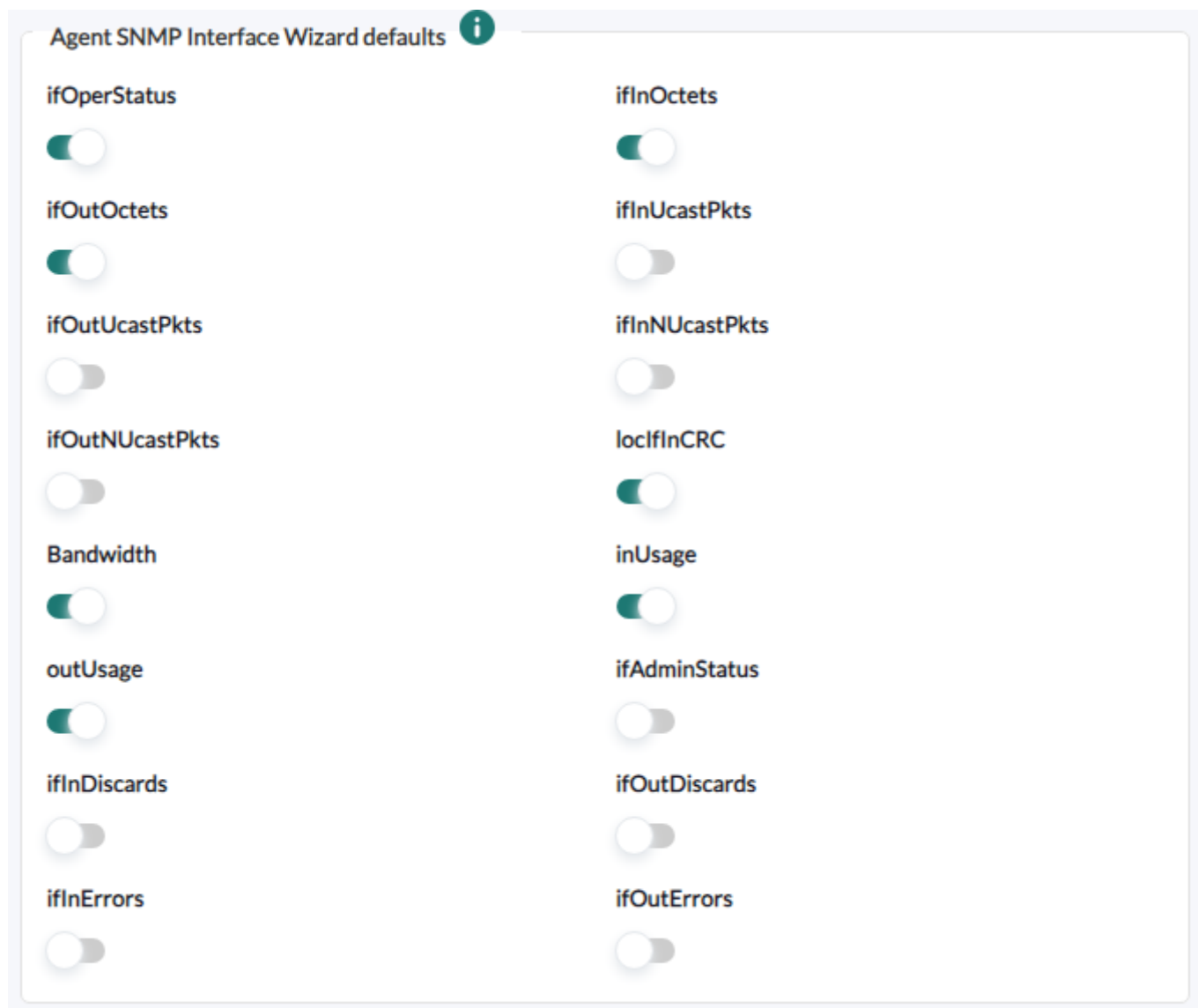
- リアルタイムレポートのアイテム制限(Item limit for real-time reports): グラフがリアルタイムで表示するデータの最大数。
- クエリあたりのイベント数制限(Limit of events per query): クエリで返されるイベントの数の最大値を設定します。
- データ縮小時の丸め込み単位時間 (1□20)(Compact interpolation in hours ('1' = ok '-20' = bad)): これは、丸め込みを行う時間単位です。たとえば、5分間隔で実行されるモジュールは、1日に 288個のデータを生成します。丸め込み間隔を 2に設定すると、データは 2時間ごとの平均になります。結果、1日 288個のデータが 12個になります。この値が大きいほど精度が低くなります。1に近い値をお勧めします。
- イベント表示期間(時間)(Default hours for Event View): イベントフィルタのデフォルトの時間です。値が 24時間であれば、イベントビューでは最近 24時間以内に発生したイベントのみが表示されます。このフィールドは、モニタリング概要でのイベント表示、カウント、およびグラフ表示にも影響します。
- リアルタイム統計の利用(Use real-time Statistics): リアルタイム統計を有効化 無効化します。
- バッチ更新間隔(秒)(Batch statistics Period (secs)): リアルタイム更新が無効の場合、ここでバッチ更新の時間を定義します。
- エージェントアクセスグラフの利用(Use agent Access Graph): エージェントアクセスグラフは、一時間ごとのエージェントの接続数を 1日(24時間)のスケールのグラフで表示します。これは、それぞれのエージェントの接続頻度を知るのに利用します。リソースが少ない場合は、データの処理に時間がかかるため、無効にすることをお勧めします。
- 添付ファイルディレクトリの最大ファイル数(Max. recommended number of files in attachment

- directory): 添付ファイルディレクトリに保存するファイルの最大数です。
- 未初期化モジュールの削除(Delete not init modules): 未初期化モジュールを削除するかどうかを指定します。
  - 古いデータを削除する全体処理単位(Big Operation Step to purge old data): `pandora_manage.pl` で処理を分割する時間間隔です。値が大きいくほど時間のブロックが大きくなり、軽くなりますが多くの処理を行うことを意味します。負荷の高いシステムや非常に大きなデータベースではデータの削除に時間がかかりますが、値を大きくすることをお勧めします。たとえば、1日分のデータを削除するデータベースでは、時間間隔 864秒を 100のブロック (デフォルト値を使用) に分割されます。デフォルトと推奨値は 100 です。
  - 古いデータを削除する個別処理単位(Small Operation Step to purge old data): `pandora_manage.pl` の単一 SQL クエリで処理する行数です。これは、「古いデータを削除する全体処理単位(Big Operation Step to purge old data)」パラメータで定義された各ブロックについて、(デフォルト値を利用した場合) 各クエリで最大1000のレコードが削除されることを意味します。値が大きいくほどクエリが大きくなり操作は少なくなりますが、重いクエリになります。負荷の高いシステムでは、データのページに時間がかかりますが、この値を減らすことをお勧めします。デフォルトおよび推奨は 1000 です。
  - グラフコンテナ - 最大アイテム(Graph container - Max. Items): グラフコンテナ表示での最大アイテム数です。
  - イベント応答の最大実行(Events response max. execution): イベント応答での一括操作で処理できる、イベントの最大数です。
  - csv ログにおける列の制限(Row limit in csv log): CSV 形式のログの行制限。
  - snmpwalk バイナリと snmpwalk バイナリ(フォールバック)(SNMP walk binary and SNMP walk binary (fallback)): `snmpbulkwalk` が SNMP v1 のリクエストに対応していない場合、このオプションが利用されます。(デフォルトは `snmpwalk` ですが低速です)
  - WMI バイナリ(WMI binary): WMI クエリで利用する実行ファイルです。デフォルトは `pandorawmic` です。
  - PDF SQL レポートの行数制限(Rows limit for SQL report item PDF): PFMS サーバが稼働しているハードウェアの過負荷を回避するために、デフォルトで最大 5,000 行に制限されます。ゼロが設定されている場合は、制限なしで設定されるため、注意して使用してください。コマンドセンター (メタコンソール) の場合は、各ノードで設定された値の合計が表示されます。

## SNMP インタフェースデフォルト値

その他の [SNMP インターフェイスウィザード](#) で各モジュールのデフォルト値を設定できます。





## 画面設定

この画面ではPandora FMS コンソールのすべての表示要素について管理できます。

## 動作設定

## CONFIGURATION » VISUAL STYLES

### Behaviour configuration <sup>?</sup>

Block size for pagination	<input type="text" value="20"/>
Paginated module view	<input type="checkbox"/>
Display data of proc modules in other format	<input type="checkbox"/>
Display text when proc modules are in OK status	<input type="text" value="Ok"/>
Display text when proc modules are in critical status	<input type="text" value="Fail"/>
Click to display lateral menus	<input checked="" type="checkbox"/>
Service label font size	<input type="text" value="20"/>
Space between items in Service maps	<input type="text" value="80"/>

ページ毎の表示件数(Block Size for Pagination):

ページ毎の表示件数です。

ビジュアルコンソールのデフォルト更新間隔(Default interval for refresh on Visual Console):

ビジュアルコンソール画面の更新間隔を設定します。

モジュール画面分割(Paginated Module View):

モジュール一覧で、ページングを有効化します。

別フォーマットでのprocモジュールのデータ表示(Display data of proc modules in other format)

Proc タイプデータは、モジュールの二値状態を表現します。データベースでは、それらは数値として収集されますが、2つの状態のそれぞれの識別子を使用して説明的な方法で表現することもできます。このオプションを有効化すると、2つ目の表現フォームが利用されます。

正常状態時のprocモジュール表示テキスト(Display text proc modules have state is ok)

別フォーマットでのprocモジュールのデータ表示 オプションを有効化している場合、モジュールが正常状態のときに数字の代わりに表示するテキストです。

障害状態時のprocモジュール表示テキスト(Display text when proc modules have state critical)

別フォーマットでのprocモジュールのデータ表示オプションを有効化している場合、モジュールが障害状態のときに数字の代わりに表示するテキストです。

クリックして横のメニューを表示(Click to display lateral menus)

このパラメータは、横のメニューをドロップダウンするのに、左クリックした場合とするかマウスオーバーした場合とするかを設定します。

サービスレベルフォントサイズ(Service label font size)

サービスのフォントサイズです。

サービスマップにおける要素間のスペース(Space between items in Service maps)

サービスマップの2つの要素間の距離(ピクセル単位)です。重なりを防ぐため、この値は80pxより小さくはできません。

## GIS 設定

The screenshot shows the 'GIS configuration' section of the Pandora FMS settings. It contains two main settings:

- GIS Labels:** A toggle switch that is currently turned off.
- Default icon in GIS:** A dropdown menu showing 'marker' and a 'View' button with a magnifying glass icon.

Below this section is the 'Style configuration' section, which is partially visible.

GIS ラベル(GIS Labels)

GIS マップでエージェントの名前を含むラベルを利用したい場合は、このオプションを有効にしてください。しかしながら、マップにたくさんのエージェント名がある場合、非常に読みにくくなります。

GIS でのデフォルトアイコン(Default Icon in GIS)

GIS マップで利用するエージェントのアイコンです。'なし'に設定すると、グループのアイコンが利用されます。



## スタイル設定

グラフ要素のスタイル設定:

### Style configuration ?

<b>Style template</b>	Default theme <input type="text"/>	<b>Status icon set</b>	Colours <input type="text"/> <a href="#">View</a>	
<b>Custom favicon</b>	Default <input type="text"/>	<b>Custom background logo</b>	flowers.jpg <input type="text"/> <a href="#">View</a>	
<b>Custom logo (menu)</b>	logo-default-pandorafms.png <input type="text"/> <a href="#">View</a>	<b>Custom logo collapsed (menu)</b>	logo-default-pandorafms-collapsed.p... <input type="text"/> <a href="#">View</a>	
<b>Custom logo (header white background)</b>	pandora_logo_head_white_bg.png <input type="text"/> <a href="#">View</a>	<b>Custom logo (login)</b>	Pandora-FMS-1.png <input type="text"/> <a href="#">View</a>	
<b>Custom Splash (login)</b>	none.png <input type="text"/> <a href="#">View</a>	<b>Custom documentation logo</b>	default_docs.png <input type="text"/> <a href="#">View</a>	
<b>Custom support logo</b>	default_support.png <input type="text"/> <a href="#">View</a>	<b>Custom networkmap center logo</b>	Default <input type="text"/> <a href="#">View</a>	
<b>Custom mobile console icon</b>	Default <input type="text"/> <a href="#">View</a>			
<b>Title (header)</b>	Pandora FMS		<b>Subtitle (header)</b>	the Flexible Monitoring System
<b>Title 1 (login)</b>	ONE TOOL TO RULE THEM ALL		<b>Title 2 (login)</b>	
<b>Docs URL (login)</b>	https://pandorafms.com/manual		<b>Support URL (login)</b>	https://support.pandorafms.com
<b>Product name</b>	Pandora FMS		<b>Copyright notice</b>	PandoraFMS.com
<b>Background opacity % (login)</b>	20		<b>Disable logo in graphs</b>	<input type="checkbox"/>
<b>Disable helps</b>	<input type="checkbox"/>		<b>Fixed header</b>	<input type="checkbox"/>
<b>Automatically hide submenu</b>	<input type="checkbox"/>		<b>Visual effects and animation</b>	<input checked="" type="checkbox"/>
<b>Random background (login)</b>	<input checked="" type="checkbox"/>			

スタイルテンプレート (Style Template)

Pandora FMS コンソールのウェブスタイルを定義します。include/styles フォルダに CSS ファイルを含めることによりスキンやテンプレートを追加することができます。

#### ステータスアイコンの種類(Status Icon Set)

モジュールの状態を表示するのに利用されるアイコンのデザインを選択します。デフォルトでは、赤、黄、緑の色が利用されます。

色を、アイコンに置き換えることができます。例えば、色覚障害のあるユーザでもシステムを利用できます。

#### カスタム favicon (Custom favicon)

Pandora FMS のデフォルト favicon を変更することができます。正しく動作させるためには、.ico フォーマットで 16×16 のサイズでなければいけません。images/custom\_favicon フォルダに追加されたアイコンから選択することができます。

#### カスタム背景ロゴ(Custom background logo):

ログイン画面の背景をカスタマイズできます。images/background フォルダにカスタム画像を保存し、選択メニューからそれを選択します。

Pandora FMS に組み込まれたファイルマネージャ(管理ツール(Admin tools) → ファイルマネージャ(File manager))を通して、カスタム画像をアップロードできます。

#### カスタムロゴ(メニュー)(Custom Logo(menu))

この機能は、Pandora FMS コンソールヘッダーのロゴをカスタマイズすることができます。PNG 画像を利用します。画像のデフォルトサイズは 60×139ピクセルです。ロゴは、ファイルマネージャを用いて /images/custom\_logo ディレクトリにアップロードできます。

#### 折り畳みモード時のカスタムロゴ(メニュー)(Custom Logo collapsed (menu))

この機能はオープンソース版にのみ存在し、折り畳みモードの際の Pandora FMS コンソールヘッダーに表示するロゴです。ファイルマネージャを使用して、折り畳んだロゴを /images/custom\_logo へアップロードできます。

#### カスタムロゴ(ヘッダー白背景) (Custom logo (header white background))

ツールのいくつかの部分では黒背景ですが、いくつかの部分では白背景となっています。そのため Pandora FMS は、すべての画面にマッチするように白背景ページ用のアイコンを設定することができます。ファイルマネージャを使用して、カスタムロゴ(ヘッダーを白背景にしてください)を /images/custom\_logo というディレクトリにアップロードできます。



### カスタムロゴ(ログイン) (Custom logo (login))

ログイン画面のカスタムロゴです。アイコンのアップロード先は */images/custom\_logo* です。

### カスタムスプラッシュ(ログイン) (Custom Splash (login))

ログイン画面の入力部分の右側に表示されるロゴのカスタムアイコンです。アイコンのアップロード先は *enterprise/images/custom\_splash\_login* です。

### カスタムドキュメントロゴ(Custom documentation logo) および カスタムサポートロゴ(Custom support logo)

ログイン画面における、ドキュメントおよびサポートへのリンクアイコンです。空にするとアイコンは表示されません。アイコンのアップロード先は、*enterprise/images/custom\_general\_logos/* です。

### カスタムネットワークマップ中心ロゴ(Custom networkmap center logo)

ネットワークマップの中心ノードのアイコンもカスタマイズできます。アイコンのアップロード先は、*enterprise/images/custom\_general\_logos/* です。デフォルトではPandoraのアイコンです。

### カスタムモバイルコンソールアイコン(Custom mobile console icon)

モバイルコンソールのアイコン設定です。アイコンのアップロード先は、*enterprise/images/custom\_general\_logos/* です。デフォルトでは、モバイルコンソールであることを示す表示を含む pandora アイコンです。

Title (header)	<input type="text" value="Pandora FMS"/>
Subtitle (header)	<input type="text" value="the Flexible Monitoring System"/>
Title 1 (login)	<input type="text" value="PANDORA FMS"/>
Title 2 (login)	<input type="text" value="ONE TOOL TO MONITOR THEM ALL"/>
Docs URL (login)	<input type="text" value="http://wiki.pandorafms.com/"/>
Support URL (login)	<input type="text" value="https://support.artica.es"/>
Product name	<input type="text" value="Pandora FMS"/>
Copyright notice	<input type="text" value="PandoraFMS.com"/>
Disable logo in graphs	<input type="checkbox"/>
Disable helps	<input type="checkbox"/>
Fixed header	<input type="checkbox"/>
Automatically hide submenu	<input type="checkbox"/>
Visual effects and animation	<input checked="" type="checkbox"/>

タイトル (ヘッダ) (Title (header)) および サブタイトル (ヘッダ) Subtitle (header))

ログイン画面ヘッダのタイトルとサブタイトルです。

タイトル1(ログイン) (Title 1 (login)) および タイトル2(ログイン) (Title 2 (login))

ログイン画面のタイトルとサブタイトルです。

ドキュメント URL (ログイン) (Docs URL (login))

ログイン画面の上のバーにあるドキュメントリンクの URL アドレスです。

サポート URL (ログイン) (Support URL (login))

ログイン画面の上のバーにあるサポートリンクの URL アドレスです。

製品名(Product name)

デフォルトでは、製品名は Pandora FMS です。しかしながら Enterprise 版では、ユーザが他の文字

列に表示を変更することができます。

#### 著作権表示(Copyright notice)

デフォルトではPandoraの開発元である Pandora FMS SL です。ただしEnterprise 版では、ユーザーにブランド変更のオプションがあります。つまりPandora FMS SL を、よりカスタマイズされたバージョンを表すような別のテキスト文字列に変更することができます。

#### グラフ内ロゴの無効化(Disable logo in graphs)

グラフからロゴを削除します。

#### ヘルプの無効化(Disable helps)

Pandora のヘルプをすべて隠します。この設定オプションは、モーダルウィンドウとウィザード、またPandora ドキュメントへのリンクに影響します。

#### ヘッダの固定(Fixed header)

ヘッダが常に表示されます。スクロールしても隠れません。

#### メニューを自動で隠す(Automatically hide Menu)

このオプションは、数秒後に横のメニューを最小化します。

#### 表示効果およびアニメーション(Visual effects and animation)

いくつかの Javascript の効果を無効化します。

データベース障害が発生した場合に設定を維持するために、次の代替設定トークンがconfig.phpに保存されるようになりました。

```
//
-----Rebranding-----
// Uncomment this lines and add your customs text and paths.
// $config["custom_logo_login_alt"] = "login_logo.png";
// $config["custom_splash_login_alt"] = "splash_image_default.png";
// $config["custom_title1_login_alt"] = "WELCOME TO Pandora FMS";
// $config["custom_title2_login_alt"] = "NEXT GENERATION";
// $config["rb_product_name_alt"] = "Pandora FMS";
// $config["custom_docs_url_alt"] = "http://wiki.pandorafms.com/";
// $config["custom_support_url_alt"] = "https://support.pandorafms.com";
```

#### ランダム背景(ログイン)(Random background (login) (バージョン 770 以降))

ログイン画面用に設定された壁紙がない場合 (カスタム背景ロゴを参照)、このオプションを有効に











すると、次の場所に保存されている画像ファイルから 1 つがランダムに設定されます。

.../pandora\_console/images/backgrounds/random\_backgrounds

## グラフ設定

グラフ設定:

### Chart settings ?

Graph color #1		Graph color #2	
Graph color #3		Graph colour #4	
Graph colour #5		Graph colour #6	
Graph colour #7		Graph colour #8	
Graph colour #9		Graph colour #10	
Data precision	<input type="text" value="1"/>	Data precision in graphs	<input type="text"/>
Value to interface graphics	<input type="text" value="Bytes"/>	Default line width for the Custom Graph	<input type="text" value="1"/>
Number of elements in Custom Graph	<input type="text" value="10"/>	Use round corners	<input type="checkbox"/>
Chart fit to content	<input type="checkbox"/>	Type of module charts	<input checked="" type="radio"/> Area <input type="radio"/> Line
Percentile	<input type="text" value="95"/>	Graph TIP view	<input type="text" value="None"/>
Graph mode	<input type="text" value="Show only average by default"/>	Zoom graphs	<input type="text" value="x1"/>

グラフの色 #1(Graph Color #1)

モジュールグラフの最小値の色です。

グラフの色 #2(Graph Color #2)

モジュールグラフの平均値の色です。

グラフの色 #3(Graph Color #3)

モジュールグラフの最大値の色です。

グラフの色 #4(Graph color #4 → グラフの色 #10(Graph color #10)

これらの色は、Pandora FMS グラフで利用されます。

インタフェースグラフの値(Value to interface graphics)

インタフェースグラフィックスの単位の名前。

データの精度(Data precision)

レポートおよびビジュアルコンソールに小数点以下何位まで表示するかです。0 と 5 の間の数値でなければいけません。

グラフのデータ精度(Data precision in graphs)

グラフに表示する小数点以下の数です。0 と 5 の間の数値でなければいけません。

角を丸くする(Use round Corners)

進捗バーおよび、その他 Pandora FMS のグラフで、角を丸くするかどうかを設定します。

データにグラフを合わせる(Chart fit to content)

値がパーセンテージであり、グラフの上部が最大値の 100 を超えるグラフがあります。このオプションをアクティブにすると、上部にマージンを追加する処理を停止するようにグラフを設定できます。

モジュールグラフのタイプ(Type of module charts)

モジュールグラフの表現タイプです。塗りつぶしまたは線のグラフを選択できます。

インタフェースグラフのタイプ(Type of interface charts)

インタフェースグラフの表現タイプです。塗りつぶしまたは線のグラフを選択できます。

パーセント(Percentile)

グラフの 95% に線を表示します。

## 詳細グラフ(TIP graphs)

このパラメータによりグラフは詳細表示されます。以下の 3つのオプションがあります。

- なし(None): グラフの詳細オプションは無効です。(デフォルト)
- すべて(All): グラフメニューの詳細オプションが有効です。
- 二値グラフ(Boolean graphs): 二値グラフの場合のみ詳細オプションが有効になります。

## グラフモード(Graph mode)

グラフ(詳細表示を除く)は、存在するデータに対するおおよその表現です。この手法では、表現する期間を複数に分割し、分割した各セクションにおけるモジュールの状態を示す値を計算します。計算される値は平均値、最小値、最大値です。平均値だけを表示し、それ以外を表示しないグラフを作成するには、このオプションを有効 Show only average by default にします。

## グラフの拡大(Zoom graphs)

グラフ表示におけるデフォルトの拡大率です。

## バージョン NG 752 以上

Number of elements in Custom Graph

## カスタムグラフの要素数(Number of elements in custom graph)

バージョン 752 以降では、このオプションを使用して、組み合わせグラフの凡例の数を制限できます。画面スペースは常に制限されており、多数の凡例を操作するとグラフの表示品質が低下する可能性があるため、このオプションが必要です。凡例の幅を狭くして、要約してできるだけ短くすることも検討してください。これに対応している組み合わせグラフは、次のタイプです。

- 線(Line)
- 塗りつぶし(Area)
- 縦棒(Vertical bars)
- 横棒(Horizontal bars)
- 積み重ね(Stacked)

## フォントおよびテキスト設定



Font and text settings <sup>?</sup>

Graphs font size: 8

Agent text size: Small: 18 Normal: 50

Module text size: Small: 25 Normal: 50

Description text size: 60

Item title text size: 45

Show unit along with value in reports:

### フォントパス(Font path)

フォントの選択です。Pandora FMS グラフで、この True-Type フォントが利用されます。

### フォントサイズ(Font size)

Pandora FMS グラフフォントのフォントサイズです。

### エージェント名の表示長さ(Agent size text)

エージェント名が長い場合、Pandora FMS コンソール上のいくつかの表示では N 文字に切り詰められます。

### モジュール名の表示長さ(Module size text)

モジュール名が長い場合、Pandora FMS コンソール上のいくつかの表示では N 文字に切り詰められます。

### 説明の表示長さ(Description size text)

説明が長い場合、Pandora FMS コンソール上のいくつかの表示では N 文字に切り詰められます。

### アイテムタイトルの表示長さ(Item Title Size Text)

アイテムのタイトルが長い場合、Pandora FMS コンソール上のいくつかの表示では N 文字に切り詰められます。

### レポート内に値に加えて単位を表示する(Show unit along with value in reports)

レポートにモジュール値に加えて単位を表示します。

## ビジュアルコンソール設定

ビジュアルコンソール設定:

### レガシービジュアルコンソール表示(Legacy Visual Console View)

これを有効化すると、ビジュアルコンソール表示が以前のものとなります。

### デフォルトキャッシュの有効期限(Default cache expiration)

ここでは、エレメントの状態スキャンが削除される頻度を指定します。これにより、それらの状態が個別に計算される頻度を指定します。

### ビジュアルコンソールをリフレッシュするデフォルト間隔(Default interval for Visual Console to refresh)

この間隔は、ビジュアルコンソールページにのみに影響し、ページが自動的に更新される頻度を設定します。

### ビジュアルコンソールの表示タイプ(Type of view of visual consoles)

ドロップダウンを使用して、お気に入りのビジュアルコンソールをメニューに表示するかどうかを指定します。

### メニューに表示するお気に入りビジュアルコンソールの数(Number of favorite visual consoles to show in the menu)

お気に入りのビジュアルコンソールが横のメニューに表示されます。ただし、パフォーマンスやオーバーラップの問題により、数が多い場合にはすべてが表示されるわけではありません。この設定で、ビジュアルコンソールの数を制限します。

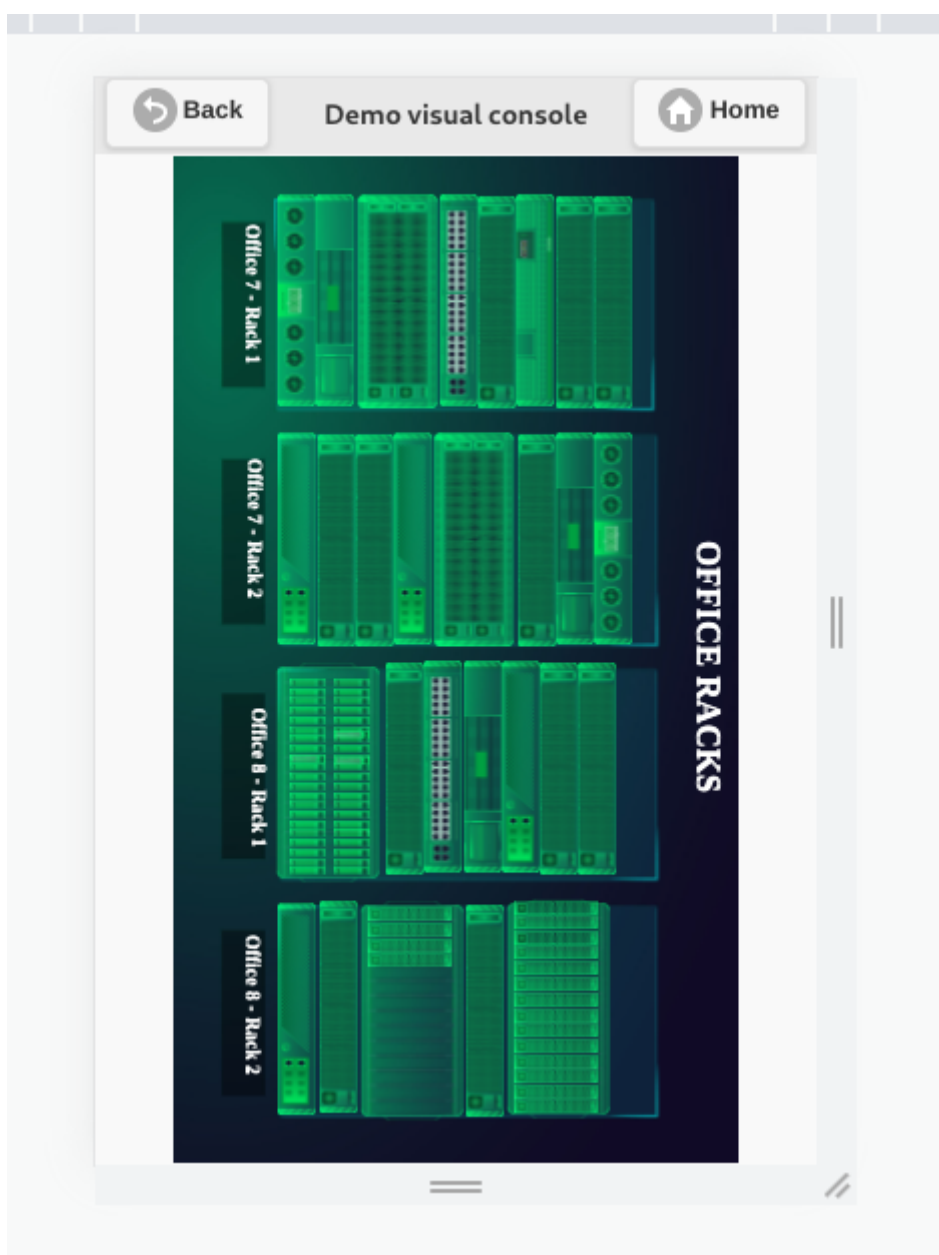
ビジュアルコンソールのデフォルトの線の幅(Default line width for the Visual Console)

ビジュアルコンソール上の線の幅です。このオプションは、ビジュアルコンソール内の個々の線ごとに変更することができますが、デフォルトの値をここで定義します。

レガシービジュアルコンソール表示モードが無効の場合は、追加のオプションがあります。

モバイル表示でビジュアルコンソールの向き変更を許可しない(Mobile view not allow visual console orientation)

(バージョン 763 以降) モバイルコンソールで、モーションセンサーに応じて画面が回転するのを防ぎます。例:

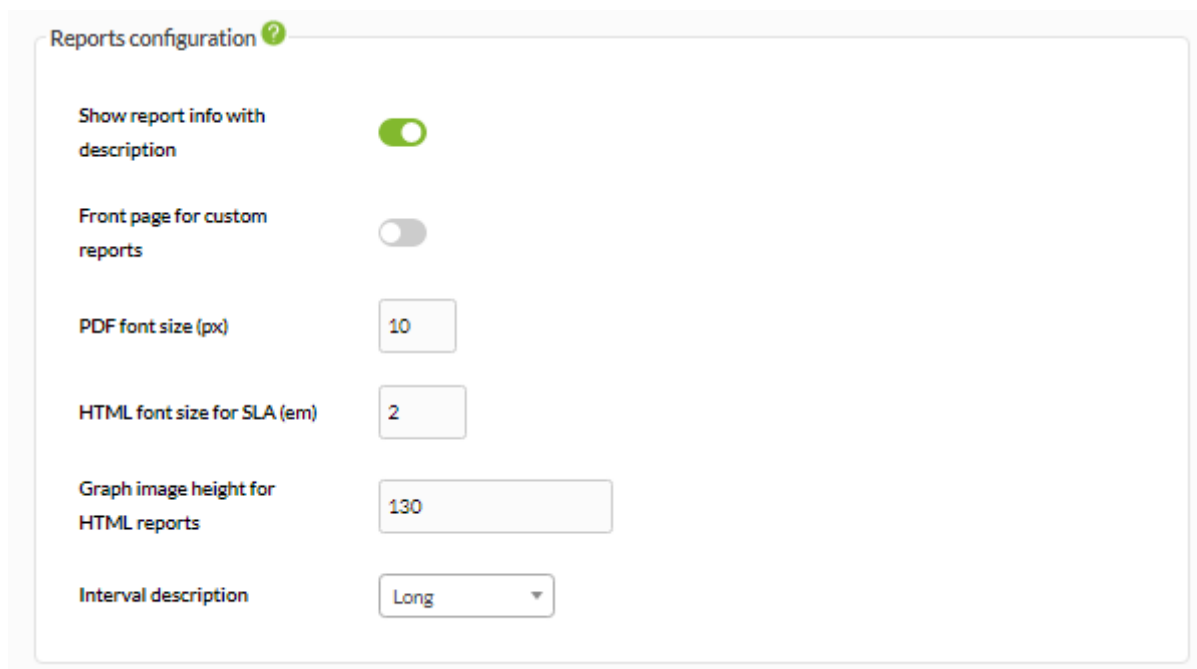


アラート発生時にアイテム枠を表示(Display item frame on alert triggered)

(バージョン 771 以降) **ビジュアルコンソール** の静的画像、単一値、アイコン、およびグループ要素

でアラートが発報されたときに、オレンジ色のボックスを非表示にできます。デフォルトでは有効です。

## レポート設定



Reports configuration ?

Show report info with description

Front page for custom reports

PDF font size (px)

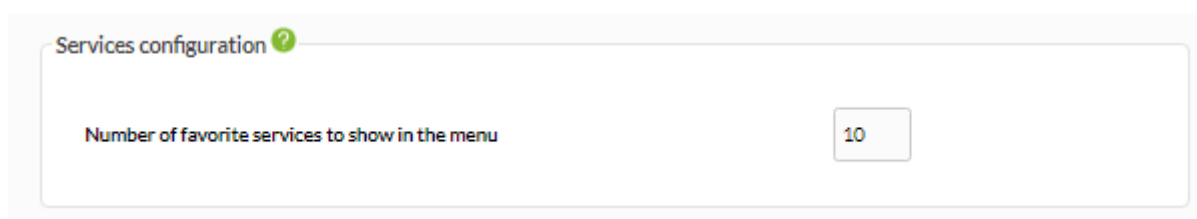
HTML font size for SLA (em)

Graph image height for HTML reports

Interval description

- 説明と合わせてレポートを表示(Show report info with description): カスタムレポート説明情報。デフォルトでは、すべてのレポートおよびテンプレートに適用されます。
- カスタムレポート用フロントページ(Front page for custom reports): カスタムレポートのフロントページ。デフォルトでは、すべてのレポートとテンプレートに適用されます。
- PDF フォントサイズ (px)(PDF font size (px))
- SLA の HTML フォントサイズ (em)(HTML font size for SLA (em))
- PDF フォントファミリー (PDF font family)
- HTML レポートのグラフィック高さ(Graph image height for HTML reports): レポートのモジュールグラフまたはカスタムグラフのピクセル単位の高さです (HTML のみ)
- 間隔の説明(Interval description): 長い間隔の説明は、たとえば 10 hours, 20 minutes, 33 seconds で、短い間隔は 10h 20m 33s です。

## サービス設定



Services configuration ?

Number of favorite services to show in the menu

メニューに表示するお気に入りサービス数(Number of favorite services to show in the menu)

ビジュアルコンソールのサブメニューに表示する、お気に入りのビジュアルコンソールの最大数。



## その他設定

その他設定:

Other configuration ?

Networkmap max width

Show only the name of the group

Show empty groups in group view

Date format string *Example* December 15, 2022, 9:26 pm

Decimal separator

Timestamp, time comparison, or compact mode

Custom value post processing Value:  Text:

Delete custom values:

Interval values Value:

Delete interval:

Module units Value:

Delete custom values:

CSV divider

CSV decimal separator

Data multiplier to use in graphs/data



### ネットワークマップ最大幅(Networkmap max width)

全体を参照できない画面が表示されないようにするための、ネットワークマップの最大幅です。

### グループ名のみ表示(Show only the name of the group)

グループアイコンの代わりにグループ名を表示します。

### グループ表示で空のグループを表示(Show empty groups in group view)

グループ表示で、空のグループ表示を有効化します。

### 日時フォーマット(Date Format String)

PHP 言語 に従った日時のフォーマットです。

### 小数点記号(Decimal separator)

レポートで使われる小数点記号です。

### 日時表示、経過時間表示、コンパクト表示(Timestamp, time comparison, or compact mode)

どの日時表示を利用するかです。システムの日時(Timestamp in rollover) 経過時間(Rollover comparison) コンパクトモード(Compact mode) があります。データベースがコンソールと異なるシステムにある場合に便利です。

### 保存倍率のカスタム値(Custom value post processing)

データの保存倍率です。ある単位のデータを他の単位に変換してデータベースに保存します。間違っ  
た数値を設定してしまった場合は、リストから カスタム値を削除>Delete custom values) を選択し  
削除>Delete) をクリックしたのち、改めて値を設定します。

### 間隔値(Interval Values)

ここではPandora FMS フォームでの間隔の値(秒、分など)を定義できます。

### モジュール単位(Module units)

このオプションでは、モジュールが受信したデータの単位を定義できます。

### CSV 区切り文字(CSV divider)

CSV ファイルのエクスポート時に、データの分割を表す文字です。

### CSV 小数点区切り文字(CSV decimal separator)

CSV にエクスポートする際に小数点として使用される記号。

グラフのデータで用いるデータ倍率(Data multiplier to use in graphs/data)

グラフでデータを表示する際の乗算する値。このオプションは保存倍率とは異なり、表示する際の倍率です。

## NetFlow

詳細については、“ [NetFlow を用いたネットワークトラフィック監視](#) ” を参照してください。

Configuration » Netflow	Settings
Data storage path ⓘ	<input type="text" value="/var/spool/pandora/data_in/netflow"/>
Daemon interval ⓘ	<input type="text" value="3600"/>
Daemon binary path	<input type="text" value="/usr/bin/nfcapd"/>
Nfdump binary path	<input type="text" value="/usr/bin/nfdump"/>
Nfexpire binary path	<input type="text" value="/usr/bin/nfexpire"/>
Maximum chart resolution ⓘ	<input type="text" value="50"/>
Disable custom live view filters ⓘ	<input type="checkbox"/>
Max. Netflow lifespan ⓘ	<input type="text" value="2"/>
Enable IP address name resolution ⓘ	<input type="checkbox"/>

データストアのパス(Data storage path)

Netflow データを保存するディレクトリです。

デーモン間隔(Daemon interval)

Netflow データをローテートする時間間隔を秒で指定します。

デーモンのバイナリパス(Daemon binary path)

nfcapd のパスです。

nfdump バイナリのパス(Nfdump binary path)

nfdump のパスです。

nfexpire バイナリのパス(Nfexpire binary path)

nfexpire のパスです。

最大グラフ解像度(Maximum chart resolution)

グラフの最大ポイント数です。

カスタムライブビューフィルタの無効化(Disable custom live view filters)

カスタムフィルタを無効化します。

Netflow 最大保持期間(Netflow max lifetime)

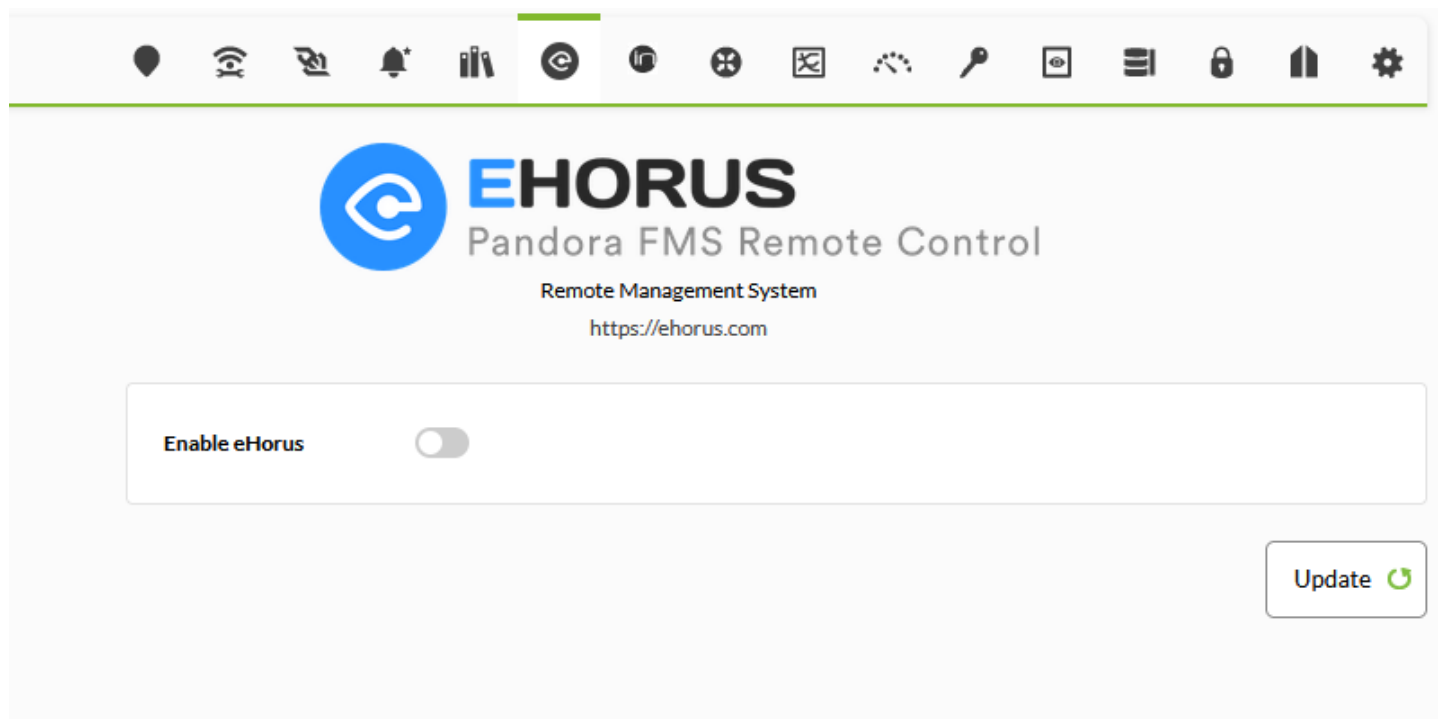
Netflow データを保持する最大日数です。

IP アドレスの名前解決(Name resolution for the IP address)

IP アドレスを解決してホスト名を取得するには、このパラメータを有効化します。この処理の実行には時間がかかる場合があります。

## **EHorus**

アクセスすると次のメニューが表示されます。



The screenshot displays the eHorus interface. At the top, there is a navigation bar with various icons. Below this, the eHorus logo is shown, followed by the text "EHORUS Pandora FMS Remote Control Remote Management System" and the URL "https://ehorus.com". A large white box contains the "Enable eHorus" toggle switch, which is currently turned off. To the right of this box is an "Update" button with a refresh icon.

eHorus との統合を有効化すると、設定メニューにアクセスできます。

Enable eHorus

eHorus API

eHorus configuration at user level

User

Password

API Hostname

API Port

Request timeout

Test

Pandora FMS v7.0NG.767 Hope - OUM 767 - MR 59  
Page generated on 2022-12-13 09:46:39

設定するフィールドは以下の通りです。

ユーザ(User)

eHorus へ接続するユーザです。

パスワード(Password)

ユーザ(User)フィールドのユーザのパスワードです。

API ホスト名(API Hostname)

API のホスト名を指定します。

## API ポート(API Port)

API アクセスのポート番号を指定します。(デフォルトは 443 です。)

## リクエストタイムアウト(Request time out)

API リクエストの最大タイムアウトです。0 に設定すると無効化です。(デフォルトは 5 秒です。)

## テスト(Test)

クリックすると、接続テストを実施します。

eHorus との統合に関する詳細は、[こちら](#) を参照してください。

## Integria IMS

統合を適切に実行するには、Integria IMS の最新バージョンが必要です。バージョン 739 に更新すると、Integria IMS との以前の統合情報は失われます。データを保持するためにバックアップすることをお勧めします。

この統合には、Pandora FMS ビジュアルコンソールのメニュー セットアップ(Setup) → セットアップ(Setup) → Integria IMS からアクセスします。



有効化するには、Integria IMS の有効化(Enable Integria IMS) をクリックします。次のフィールドを



設定します。

**INTEGRIA IMS**  
Pandora FMS ITSM

Integria IMS  
https://integriams.com

Enable Integria IMS

Integria API settings

Integria configuration at user level

User

Password

URL to Integria IMS setup ⓘ

API Password

Request timeout

Inventory

Test

## ユーザレベルでの Integria 設定

ユーザレベルで Integria IMS との接続を設定できます。デフォルトでは無効になっていますが、フィールド ユーザ(User) と パスワード>Password) が有効になっていると、設定で使用できません。

### ユーザ(User)

Integria IMS に登録されたユーザです。

### パスワード>Password)

上記のユーザのパスワードです。

Integria IMS 設定の URL(URL to Integria IMS setup)

Integria IMS サーバの IP アドレスまたは URL です。

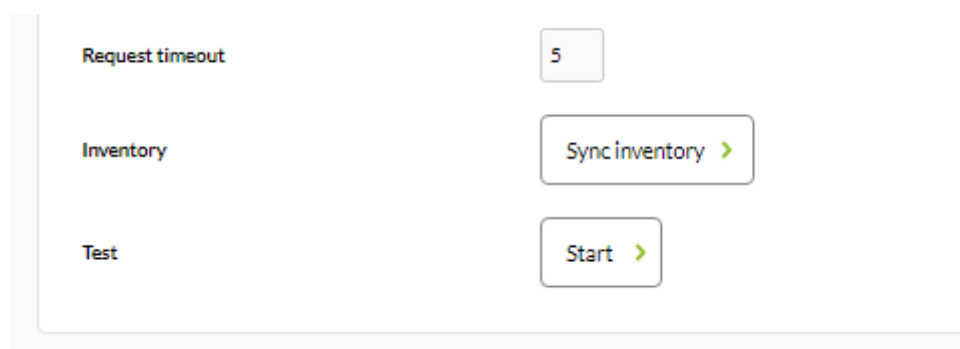
API パスワード(API Password)

Integria IMS の API パスワードです。

リクエストタイムアウト(Request timeout)

API リクエストの最大待ち時間です。0 で無効になります。

Integria IMS 管理者で上記の値をチェックしてください。



The screenshot shows a configuration panel with three rows. The first row is labeled 'Request timeout' and has a text input field containing the number '5'. The second row is labeled 'Inventory' and has a button labeled 'Sync inventory >'. The third row is labeled 'Test' and has a button labeled 'Start >'.

さらに、バージョン NG 753 以降、各ユーザは、次のセクションで説明する機能を使用するために、Integria IMS に登録された認証情報(ユーザ名とパスワード)を設定する必要があります。


設定し、開始(Start) ボタンで接続をテストを行った後、更新して続行(Update and continue) をクリックすると、次のセクションが表示されます。



- アラートデフォルト値
- イベントカスタム応答デフォルト値

アラートデフォルト値

チケットが作成されるデフォルト値を設定するセクションです。


この画面で Integria IMS が統合されている場合にのみ、対応するアラートコマンドを使用できます。



Alert default values 

Title	<input type="text" value="Integria IMS alert for Pandora FMS"/>
Ticket body	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; min-height: 100px;">Test for documentation alerta</div>
Group	<input type="text" value="Engineering"/>
Priority	<input type="text" value="Low"/>
Owner	<input type="text" value="admin"/>  
Type	<input type="text" value="Problem"/>
Status	<input type="text" value="New"/>

### イベントカスタム応答デフォルト値

ここでは、イベント応答を介してチケットの作成に進むときにチケットが持つデフォルト値を設定します。

Event custom response default values 

Title	<input type="text" value="Integria IMS custom responde for Pandora FMS"/>
Ticket body	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; min-height: 100px;">Test for documentation</div>
Group	<input type="text" value="General Customer Support"/>
Priority	<input type="text" value="Maintenance"/>
Owner	<input type="text" value="admin"/>  
Type	<input type="text" value="Problem"/>
Status	<input type="text" value="Assigned"/>

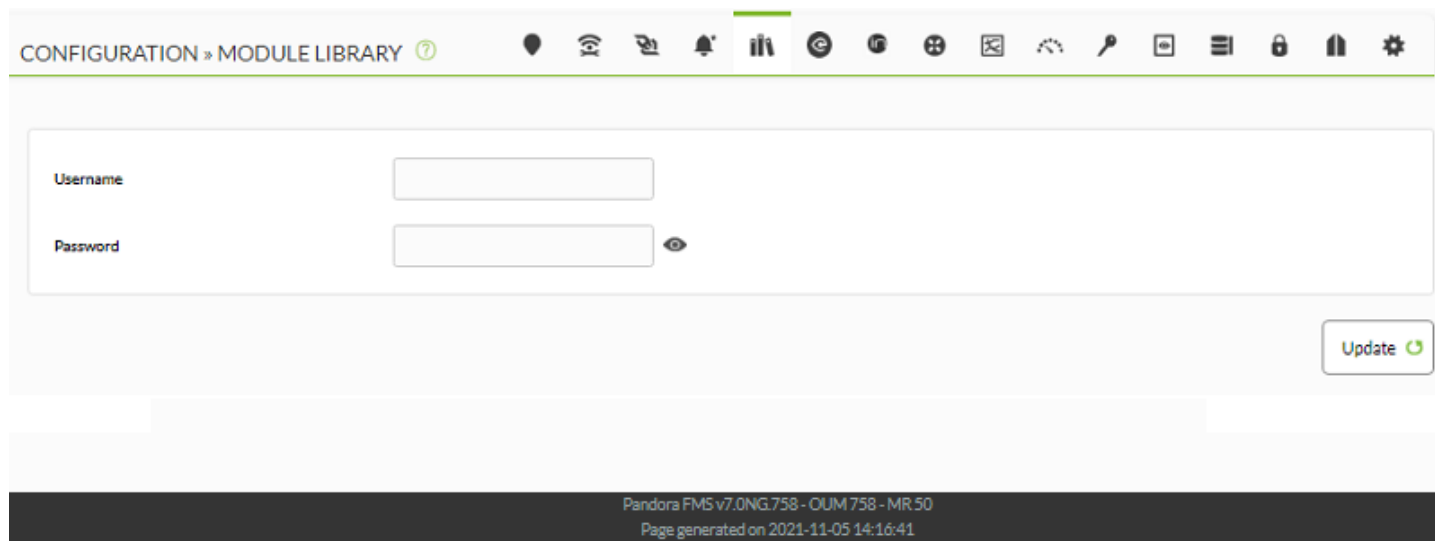
現在、アラートのデフォルト値とイベントのカスタム応答のデフォルト値の両方が、デフォルトで適用される共通のフィールドを共有しています。これらのフィールドとそのオプションは、このシステムの API を使用して Integria IMS から取得されることに注意してください。

- タイトル(Title) および チケット本文(Ticket body): チケットの名前と詳細です。
- グループ(Group): チケットに割り当てられる Integria IMS に登録されたグループです (API `get_groups`)
- 優先度(Priority): Integria IMS チケットの優先度です (API `get_incident_priorities`) **優先度の値**を確認してください。
- 所有者(Owner): Integria IMS に登録されたチケットを持つユーザです (API `get_users`)
- タイプ(Type): Integria IMS に登録されたチケットのタイプです (API `get_types`)
- 状態(Status): チケットの状態です。 **状態の値**を参照してください。

Integria IMS との統合に関する詳細は、 [こちら](#)を参照してください。

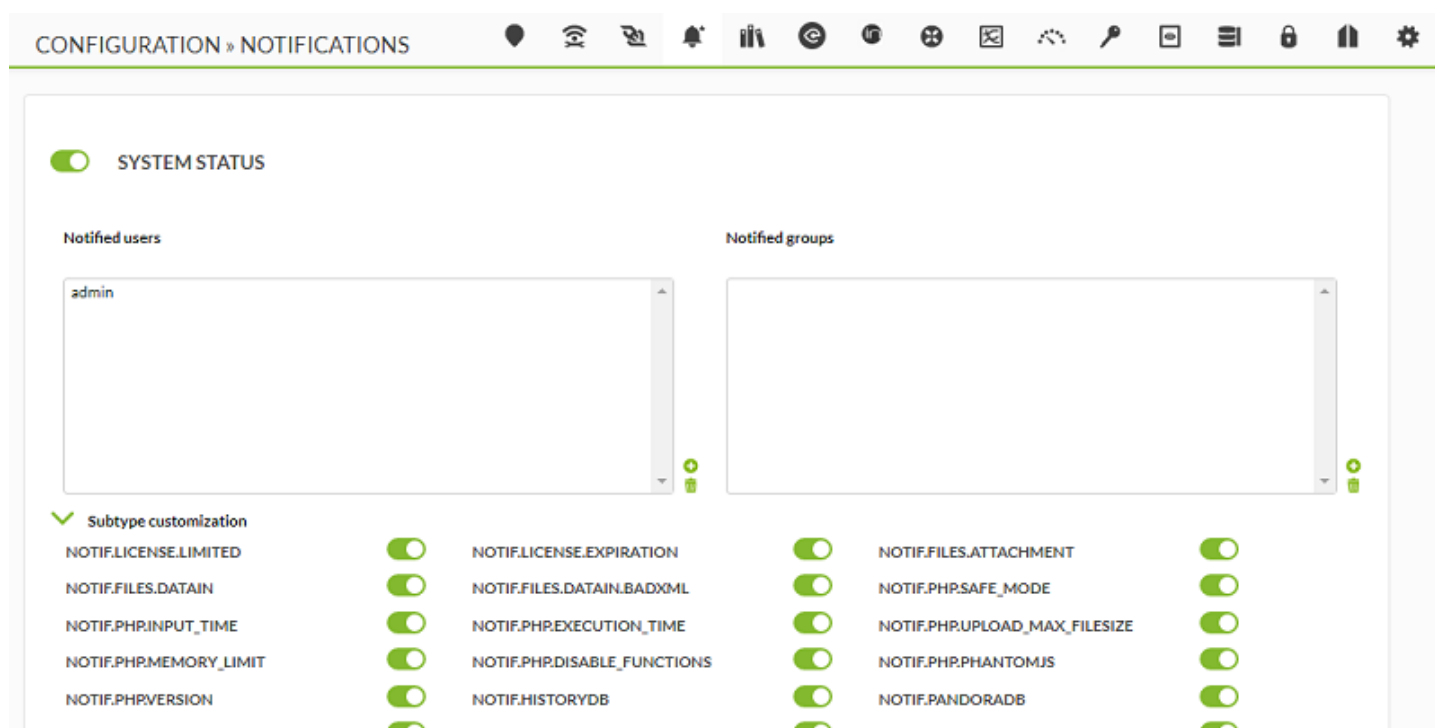
## モジュールライブラリ

**E** このオプションを使用すると、認証情報を保存して、コンソールからすぐに Pandora FMS Enterprise ライブラリにアクセスできるようになります。



## 通知

Pandora FMS には、コンソールとシステム全体の状態の通知と監視システムがあります。



[コンソール管理](#)の章に示す詳細手順に従って通知を有効化できます。

## WebSocket エンジン

バージョン 741 から Pandora FMS には新たなコンポーネント Pandora FMS コンソール WebSocket エンジン があります。

このコンポーネントにより Pandora FMS コンソールと [WebSockets](#) をサポートするシステム間の双方向通信チャンネルを維持できます。

## WebSocket 設定

設定には、セットアップ(Setup) → セットアップ(Setup) → Websocket エンジン(Websocket Engine) へ行きます。

The screenshot shows the Pandora FMS management interface. The left sidebar contains a menu with 'Management' selected, and 'Websocket Engine' highlighted. The main content area is titled 'Pandora FMS the Flexible Monitoring System' and 'Setup Pandora Websocket Engine'. It features a 'WebSocket settings' section with input fields for 'Bind address' (0.0.0.0) and 'Bind port' (8080), a 'WebSocket proxy url' field, and a 'Test' section with a 'Start' button and a gear icon. A 'Quickshell' section is visible at the bottom.

WebSocket は以下の章で詳細を示す QuickShell と共通の設定を共有します。



Setup  
Pandora Websocket Engine

WebSocket settings

Bind address	Bind port
<input type="text" value="0.0.0.0"/>	<input type="text" value="8080"/>
WebSocket proxy url	
<input type="text"/>	

Test

✓

Quickshell

Gotty path	Gotty host
<input type="text" value="/usr/bin/gotty"/>	<input type="text" value="127.0.0.1"/>
Gotty ssh port	Gotty telnet port
<input type="text" value="8081"/>	<input type="text" value="8082"/>

> Advanced options

✓

- 待ち受けアドレス(Bind address): 0.0.0.0 を使用してPandora Websocket エンジンがすべてのネットワークインターフェイスでリッスンするようにします。IPアドレスを指定する場合は、コマンド `ifconfig` を使用して表示される IP アドレスの一つと一致することを確認してください(CentOS 7 および 8 では、`# yum install net-tools -y` でインストールできます)。
- 待ち受けポート(Bind port: デフォルトのポートは 8080 です。必要に応じて変更します。
- Websocket プロキシ URL(Websocket proxy URL), SSL での暗号化通信を利用する場合は、次の設定を追加します。

wss://<URL\_public>/WS


- Pandora FMS バージョン 771 からは、接続テストを行うボタンがあります。テスト(Test) をクリックすると、数秒で結果が返ってきます。

例:

### WebSocket settings

<b>Bind address</b>	<b>Bind port</b>
<input type="text" value="0.0.0.0"/>	<input type="text" value="8080"/>
<b>WebSocket proxy url</b>	
<input type="text" value="wss://fenix.pandorafms.com/ws"/>	

**Test**



WebSocket を機能させるには GoTTY バイナリを /usr/bin/ にインストールする必要があります。Pandora FMS アプライアンスからのインストールでない場合は、Pandora FMS モジュールライブラリから GoTTY バイナリをダウンロードできます。

```
https://pandorafms.com/library/gotty/
```

または、公式ウェブサイトからダウンロードできます。

```
https://github.com/yudai/gotty/releases/tag/v1.0.1
```

このサービスは、適切に設定されていれば Linux システムで自動的に起動されます。

設定をしたら、次のコマンドで Websocket エンジンを実行できます。

```
/etc/init.d/pandora_websocket_engine start
```

ファイル pandora\_websocket\_engine はルートコンソールフォルダ(pandora\_console)にあり、必要に応じて /etc/init.d にコピーします。カスタムコンソールインストールをしている場合は、WS\_ENGINE を含む行の pandora\_websocket\_engine を編集しカスタムパスを置き換えます。次の画像を参照してください。

```
# If you want to run several pandora Console Websocket engines in this machine, just copy
# this script to another name, editing PANDORA_HOME to the new .conf
export WS_ENGINE="/var/www/html/pandora_console/ws.php"
export PHP=/usr/bin/php
export WS_LOG="/var/log/pandora/web_socket.log"
export GOTTY="/tmp/"
```

重要:

- バージョン 747 以降では Websocket エンジンのログは、/var/log/pandora/web\_socket.log に

生成されます。

- 同様に、export PHP と export GOTTY がカスタムインストールに適していることを確認します。
- OUM からのアップデートでは、logrotate [ファイル](#)を編集する必要がある場合があります。
- Apache ウェブサーバを設定するには、コマンドラインから次のコマンドを実行します。

```
#Add ws proxy options to apache.
cat>> /etc/httpd/conf.modules.d/00-proxy.conf <<'EO_HTTPD_MOD'
LoadModule proxy_wstunnel_module modules/mod_proxy_wstunnel.so
EO_HTTPD_MOD
cat>> /etc/httpd/conf.d/wstunnel.conf <<'EO_HTTPD_WSTUNNEL'
# Websocket Settings
ProxyRequests Off
<Proxy *>
    Require all granted
</Proxy>
ProxyPass /wss wss://127.0.0.1:8080
ProxyPass /ws ws://127.0.0.1:8080
ProxyPassReverse /ws ws://127.0.0.1:8080
EO_HTTPD_WSTUNNEL
systemctl restart httpd
```


## クイックシェル

クイックシェルは、ssh または telnet を介して任意のエージェントの IP に接続できるようにする Pandora FMS コンソール拡張機能です。Pandora FMS Websocket エンジンで動作します。動画 “ [New Pandora FMS feature: Quickshell](#) ” もご確認ください。

クイックシェル機能は、セットアップ(Setup) > セットアップ(Setup) > Websocket エンジン(Websocket Engine) にあるサードパーティアプリケーションである GoTTY サブサービスの管理画面を提供します。

### Quickshell

<b>Gotty path</b>	<input type="text" value="/usr/bin/gotty"/>	<b>Gotty host</b>	<input type="text" value="127.0.0.1"/>
<b>Gotty ssh port</b>	<input type="text" value="8081"/>	<b>Gotty telnet port</b>	<input type="text" value="8082"/>
<b>Advanced options</b>			
<b>Gotty user</b>	<input type="text"/>	<b>Gotty password</b>	<input type="password"/>

Update 

- GoTTY WebSocket に同一のマシンを利用する場合:
  - GoTTY path: GoTTY のバイナリパス。
  - GoTTY user: このフィールドは空にします。
  - GoTTY password: このフィールドは空にします。
- リモートマシンの GoTTY を利用する場合:
  - GoTTY path: リモートマシンを利用する場合は空にします。
  - GoTTY user: リモートマシンで認証するために設定します。
  - GoTTY password: リモートマシンで認証するために設定します。

GoTTY user および GoTTY password は、gotty サービスにログインするための認証情報オプションです。設定されていれば、Quickshell が GoTTY サービスに安全にアクセスできるようになります。これらはシステムの二章情報ではありません。選択したユーザ/パスワードを設定します。

Windows 版の Pandora FMS の場合は、外部の GNU/Linux マシンのサービスを参照してください。設定ではリモート使用が許可されているため、コンテナまたは Gotty 外部サービスを使用できます。

設定して使用できるようにするには、セットアップで設定されている内容に従って WebSocket エンジンを実行する必要があります。

すべてが完了したら、エージェントに移動して Telnet または SSH による接続などのアクションを実行します。

**Username****Port****Method**

SSH

Telnet

**Connect**

ユーザ名と接続プロトコルを選択すると、ログイン時にインターフェイスが開きます。

Resources / View agents / QuickShell

Agent main view ( hp-pfms-22 ) ★



```
jimmy@192.168.7.107's password:
Welcome to Ubuntu 22.04.2 LTS (GNU/Linux 5.19.0-41-generic x86_64)

 * Documentation:  https://help.ubuntu.com
 * Management:    https://landscape.canonical.com
 * Support:       https://ubuntu.com/advantage

Expanded Security Maintenance for Applications is not enabled.

0 updates can be applied immediately.

21 additional security updates can be applied with ESM Apps.
Learn more about enabling ESM Apps service at https://ubuntu.com/esm

Last login: Mon May  8 09:59:11 2023 from 192.168.7.117
hp-pfms-22 jimmy ~
```

インタフェースから、ログインパスワードを入力します。

このシステムは、マウスイベント(ポインタ座標がリモートマシンにリアルタイムで送信される)、インタラクティブシステムを介したファイル編集(例えば `vim`)を受け入れます。



```
top - 10:06:48 up 5:25, 2 users, load average: 0,47, 0,87, 0,99
Tasks: 289 total, 2 running, 287 sleeping, 0 stopped, 0 zombie
%Cpu(s): 4,3 us, 1,7 sy, 0,0 ni, 93,3 id, 0,5 wa, 0,0 hi, 0,2 si, 0,0 st
MiB Mem : 3346,4 total, 331,3 free, 2173,7 used, 841,4 buff/cache
MiB Swap: 4510,0 total, 3491,3 free, 1018,7 used. 830,3 avail Mem
```

PID	USER	PR	NI	VIRT	RES	SHR	S	%CPU	%MEM	TIME+	COMMAND
12137	jimmy	20	0	1132,9g	207040	102364	S	14,2	6,0	0:52.41	chrome
2737	jimmy	20	0	1510540	223748	28552	S	3,3	6,5	31:50.45	remmina
2260	<b>jimmy</b>	<b>20</b>	<b>0</b>	<b>719116</b>	<b>36816</b>	<b>20148</b>	<b>R</b>	<b>2,3</b>	<b>1,1</b>	<b>17:04.32</b>	<b>Xorg</b>
2509	jimmy	20	0	4815760	107820	40132	S	1,3	3,1	12:16.39	gnome-shell
61	root	20	0	0	0	0	I	1,0	0,0	1:05.53	kworker/1:1-even+
11659	jimmy	20	0	391784	18196	9416	S	0,7	0,5	0:02.06	rygel
11806	jimmy	20	0	32,7g	218436	131056	S	0,7	6,4	1:14.62	chrome
11853	jimmy	20	0	32,3g	76340	65604	S	0,7	2,2	0:33.61	chrome
11932	jimmy	20	0	1130,9g	189132	103820	S	0,7	5,5	0:52.41	chrome
13348	<b>jimmy</b>	<b>20</b>	<b>0</b>	<b>21896</b>	<b>4380</b>	<b>3512</b>	<b>R</b>	<b>0,7</b>	<b>0,1</b>	<b>0:00.34</b>	<b>top</b>
937	systemd+	20	0	14828	2348	1808	S	0,3	0,1	0:38.89	systemd-oomd
11690	root	20	0	0	0	0	I	0,3	0,0	0:00.89	kworker/u8:2-phy0
11852	jimmy	20	0	32,6g	128568	96444	S	0,3	3,8	1:09.84	chrome
1	root	20	0	167196	8844	5280	S	0,0	0,3	0:06.97	systemd
2	root	20	0	0	0	0	S	0,0	0,0	0:00.03	kthreadd
3	root	0	-20	0	0	0	I	0,0	0,0	0:00.00	rcu_gp
4	root	0	-20	0	0	0	I	0,0	0,0	0:00.00	rcu_par_gp
5	root	0	-20	0	0	0	I	0,0	0,0	0:00.00	slub_flushwq
6	root	0	-20	0	0	0	I	0,0	0,0	0:00.00	netns
10	root	0	-20	0	0	0	I	0,0	0,0	0:00.00	mm_percpu_wq
11	root	20	0	0	0	0	I	0,0	0,0	0:00.00	rcu_tasks_kthread
12	root	20	0	0	0	0	I	0,0	0,0	0:00.00	rcu_tasks_rude_k+
13	root	20	0	0	0	0	I	0,0	0,0	0:00.00	rcu_tasks_trace_+
14	root	20	0	0	0	0	S	0,0	0,0	0:00.96	ksoftirqd/0
15	root	20	0	0	0	0	I	0,0	0,0	0:15.60	rcu_preempt
16	root	rt	0	0	0	0	S	0,0	0,0	0:00.15	migration/0
17	root	-51	0	0	0	0	S	0,0	0,0	0:00.00	idle_inject/0
19	root	20	0	0	0	0	S	0,0	0,0	0:00.00	cpuhp/0
20	root	20	0	0	0	0	S	0,0	0,0	0:00.00	cpuhp/1



Resources / View agents / QuickShell

Agent main view (hp-pfms-22) ★



```
GNU nano 6.2                               New Buffer
This is an example file edition

QuickShell is something awesome!!

[ Welcome to nano.  For basic help, type Ctrl+G. ]
^G Help      ^O Write Out  ^W Where Is   ^K Cut        ^T Execute    ^C Location
^X Exit      ^R Read File  ^\ Replace    ^U Paste       ^J Justify    ^/ Go To Line
```

gotty サービスがリモートマシンにある場合、サービスがホストされているマシンでサービスを手動で起動する必要があります。

```
/usr/bin/gotty -c 'user:password' --permit-arguments -a bind_address -w --port
GOTTY_SSH_PORT ssh
```

```
/usr/bin/gotty -c 'user:password' --permit-arguments -a bind_address -w --port
GOTTY_TELNET_PORT telnet
```

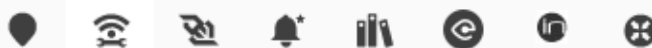
例:

```
/usr/bin/gotty -c 'root:password' --permit-arguments -a 0.0.0.0 -w --port 8081
ssh
```

## 外部ツール

外部ツールセクションでは、実行可能ファイルの事前定義されたパスに加えて、アラーム音を設定できます。さらに、マクロを使用して独自のカスタムコマンドを定義し、Pandora FMS エージェントと対話することもできます。

## CONFIGURATION » EXTERNAL TOOLS



## Options

Sound for triggered alerts

aircraftalarm.wav

Sound for Monitor critical

aircraftalarm.wav

Sound for monitor warning

aircraftalarm.wav

Custom graphviz directory

Traceroute path

Ping path

Nmap path

Dig path

Snmptget path

Custom commands

Command

Parameters

Update

## ようこそ表示

バージョン NG 770 以降

ようこそ表示は短いメッセージであり、Pandora FMS Web コンソールへのログイン時に表示されるヒントの詳細を見るためのリンクの設定です。各言語で設定することができ、それらを編集するために、各ヒントのタイトルでキーワード検索ができるフィルターがあります。

Create tip



Language

English (UK)

Profile

All

Title

Distortion

Text

Distortion is a power  
Downsampling, bit-cr  
boring samples into

Images

Seleccionar archi

Add image

Hello! These are the tips of the day.

 Show usage tips at startup

## DISTORTION

Distortion is a powerful effect. Downsampling, bit-crushing, clipping and other forms of sonic destruction are great for turning boring samples into something completely different.

[See more info](#)

Maybe later















OK


各ユーザは、独自のユーザ設定ができます。



The screenshot displays the Pandora FMS administration interface. On the left is a dark sidebar menu with the following items: Monitoring, Topology maps, Reporting, Events, **Workspace** (highlighted), Tools, Discovery, Resources, Profiles, Configuration, Alerts, Servers, Setup, and Admin tools. The main content area shows configuration settings for the 'Default' profile. The settings include: 'Block size for pagination' set to 20 with a toggle for 'Default (20)'; 'Theme' set to 'None'; 'Home screen' set to 'Default'; 'Event filter' set to 'None'; and 'Show usage tips at startup' which is a toggle switch that is currently turned on and highlighted with a red box. Below these settings is a 'Comments' section with a text area containing the text 'Admin Pandora'.

セットアップ(Setup) → セットアップ(Setup) → ようこそ表示(Welcome tips) で一般的な設定を行います。

CONFIGURATION » EDIT TIP

Icons:            

Timezone   
Europe/Rome

Images  

Add image

Language



Profile

Title

Text

URL

Enable

Preview  Send 

Pandora FMS におけるプロファイルの設定を使うことで、プロファイルの下のドロップダウンリストで、よろこ表示を設定できます。各ユーザに許可されているプロファイルに応じて、表示できる場合と表示できない場合があります。

- サイズが 464 x 260 ピクセルの関連する画像を 1 つ以上追加できます。
- 各表示は、表示できる場合とできない場合があります。

## GIS 利用マップ

Pandora FMS では、動的なマップ内にエージェントの位置を表示することが可能です。GIS 利用マップでは、GIS で利用するマップサービスを設定できます。たとえば、OpenStreetMap や Google Maps です。

## Map connection type

Type

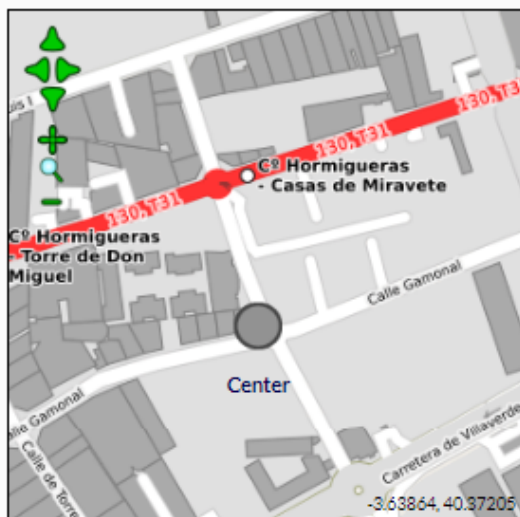
OpenStreetMaps

Tile Server URL:

http://tile.memomaps.de/tilegen/{z}/{x}/{y}.png

Preview to select the center of the map and the default position for an agent without GIS data.

Refresh preview map &gt;



Map Centre

Default position for agents without GIS data

Change on the map



Latitude

40.3734682

40.42056

Longitude

-3.6418548

-3.708187

Altitude

0

0

Save

詳細は、[Pandora FMS GIS コンソール](#) を参照してください。

## ライセンス

Pandora FMS をインストールすると、[ライセンスを適用](#)することができます。この画面ではそのステータスを確認し、Pandora FMS インスタンスを再インストールする際の認証(認証(Validate))を要求するか、新しいライセンスを要求(新しいライセンスを要求(Request new license))することができます。

## LICENSE MANAGEMENT

Customer key	<input type="text"/>
Expires	<input type="text"/>
Platform Limit	<input type="text"/> agents
Current platform count	<input type="text"/> agents
Current platform count (enabled: items)	<input type="text"/> agents
Current platform count (disabled: items)	<input type="text"/> agents
License Mode	<input type="text"/>
NMS	<input type="text"/>
Satellite	<input type="text"/>
Licensed to	<input type="text"/>

Pandora FMS v7.0NG.758 - OUM 758 - MR 50

Page generated on 2021-11-05 19:08:48

Pandora FMS 748 から、サーバは最大 100 のエージェントで 1 ヵ月有効な試用ライセンスがインストールされます。このライセンスを拡張する場合は、[お問い合わせフォーム](#) からお問合せください。

オープンソース版 はライセンスは不要です。

バージョン NG 765 以降

NMS	disabled
Satellite	enabled
License encryption key	.....
Licensed to	Artica(Sancho Lerena <info@artica.es>)

サテライトサーバオプションが有効になっている場合、ライセンス暗号化キーを設定して、サテライトサーバへのライセンストークンの安全な送信を確保できます。この同じキーを [サテライトサーバの設定](#) で行う必要があります。

## スキン

この機能ではPandora FMS コンソールインタフェースをカスタマイズできます。これによりCSS スタイルファイルの変更およびインタフェースのアイコンを変更することができます。

新たなスキンを作成するためには、デフォルトの Pandora のディレクトリを複製します。

- *images*: スキンの画像ディレクトリ
- *include/styles*: スキンの CSS ファイルディレクトリ

例えば、*Example* というスキンは、次のようになります。

```
Example/  
|  
|_____images/  
|  
|_____include/  
|  
|_____styles/
```

これは、<pandora\_root>/images/skin/ の中のサブディレクトリです。これらの全ておよび中身は、zip ファイルとして圧縮されている必要があります。

スキンは、以下の2つのレベルで適用可能です。

- ユーザ: ユーザへの適用
- グループ: グループに所属するユーザに適用


スキンがユーザ単位もしくはグループに適用されたユーザでは、ユーザが優先スキンを設定できます。





以下では、定義されているスキンを表示しています。



## SKIN CONFIGURATION

Name

Filter 


Skin name	Relative path	Description	Actions
Default theme	pandora.css	Default skin for Pandora FMS web console	 
Black theme	Black theme	Black theme	 

[Create skin >](#)

スキンを編集 作成するには、次の画面に行きます。

## SKIN CONFIGURATION

Name

Relative path 

No file selected.

Description

Group(s)

All ▼

Disabled

Create >

Pandora FMS v7.0NG.758 - OUM 758 - MR 50

Page generated on 2021-11-23 11:07:03

ここで、以下のフィールドを設定します。

- 名前(Name): スキン名。
- 相対パス(Relative Path): 作成時は、スキンを含む zip ファイルをアップロードするパスです。編集時は、アップロード済みのファイルの場所を示します。
- 説明(Description): スキンの説明。
- グループ(Group/s): スキンを設定するグループ。
- 無効(Disabled): スキンの無効化。無効化したスキンは適用できません。

### 翻訳文字列

横のメニューの セットアップ(Setup) → 翻訳文字列(Translate string) へ行きます。マクロ変数を使用しても、カスタム翻訳(翻訳のカスタマイズ列)を行うことができます。この拡張の詳細は、[翻訳設定](#)にて説明しています。

## TRANSLATE STRING

Language

English (UK) ▾

Free text for search (\*)

licence

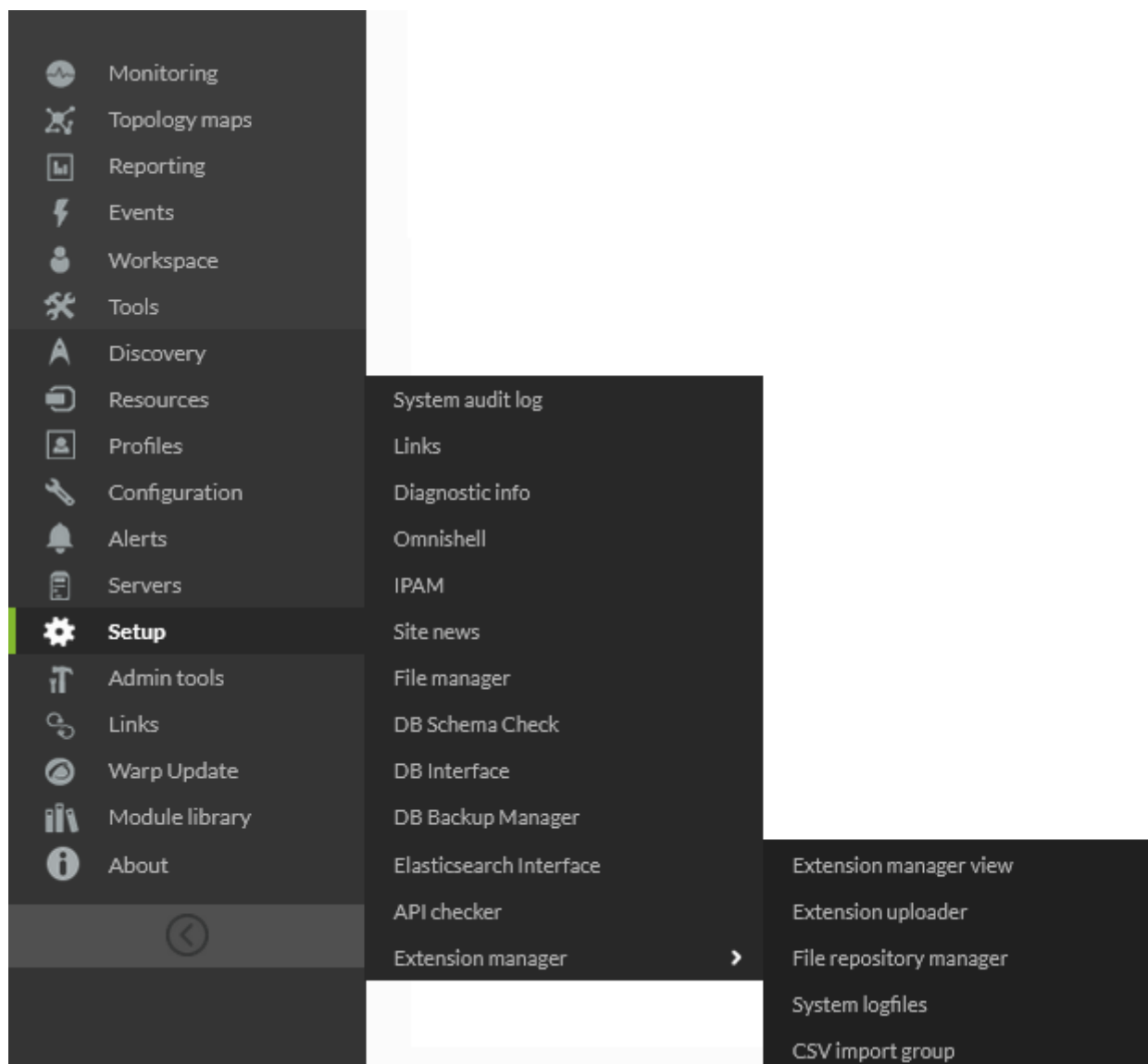
Search 🔍

Total items: 4

Original string	Translation in selected language (en_GB)	Customize translation
Invalid licence.	Invalid license	
Please contact %s for a valid licence.		Please contact %s for a valid license.
Request new licence	Request new license	
When connecting to licence server.		When connecting to license server.

Total items: 4

Update ↻



## システム監査ログ

Pandora FMS は、Pandora FMS コンソールで生成されたすべての重要な変更とアクションのログを保存します。このログは、管理ツール(Admin tools) → システム監査ログ(System Audit Log) から参照できます。

PANDORA FMS AUDIT » REVIEW LOGS

Filter

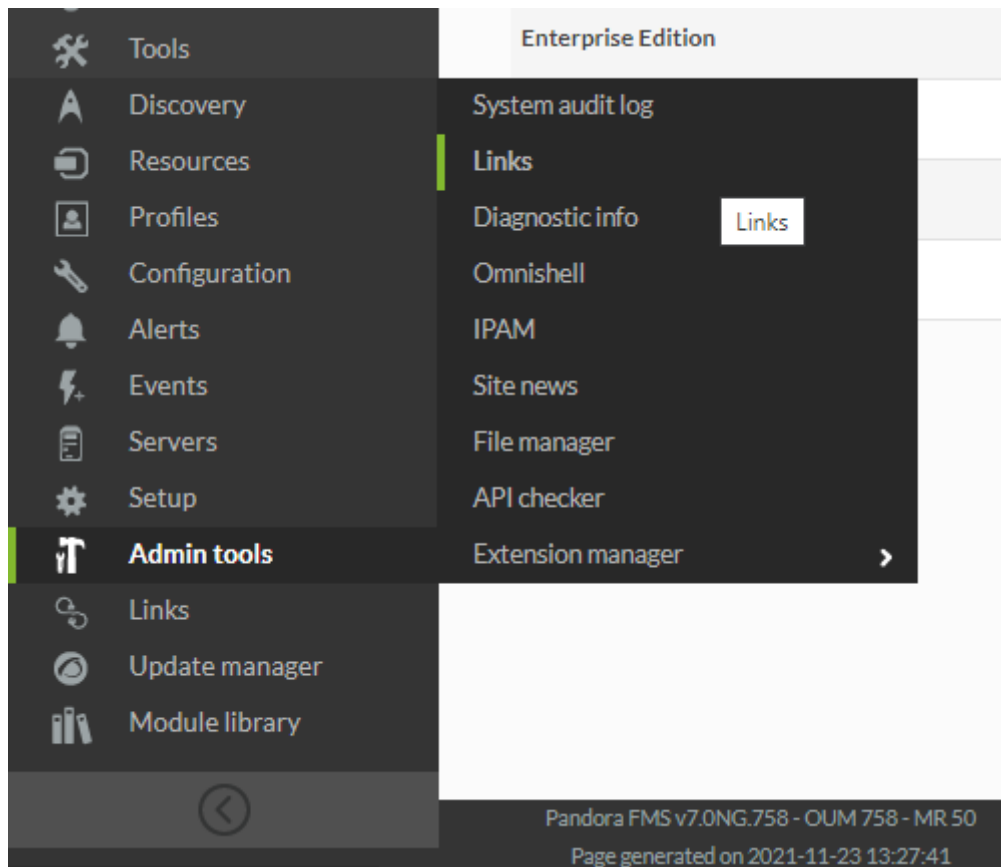
System audit log

User	Action	Date	So
Documentation	Logon	9 hours	20

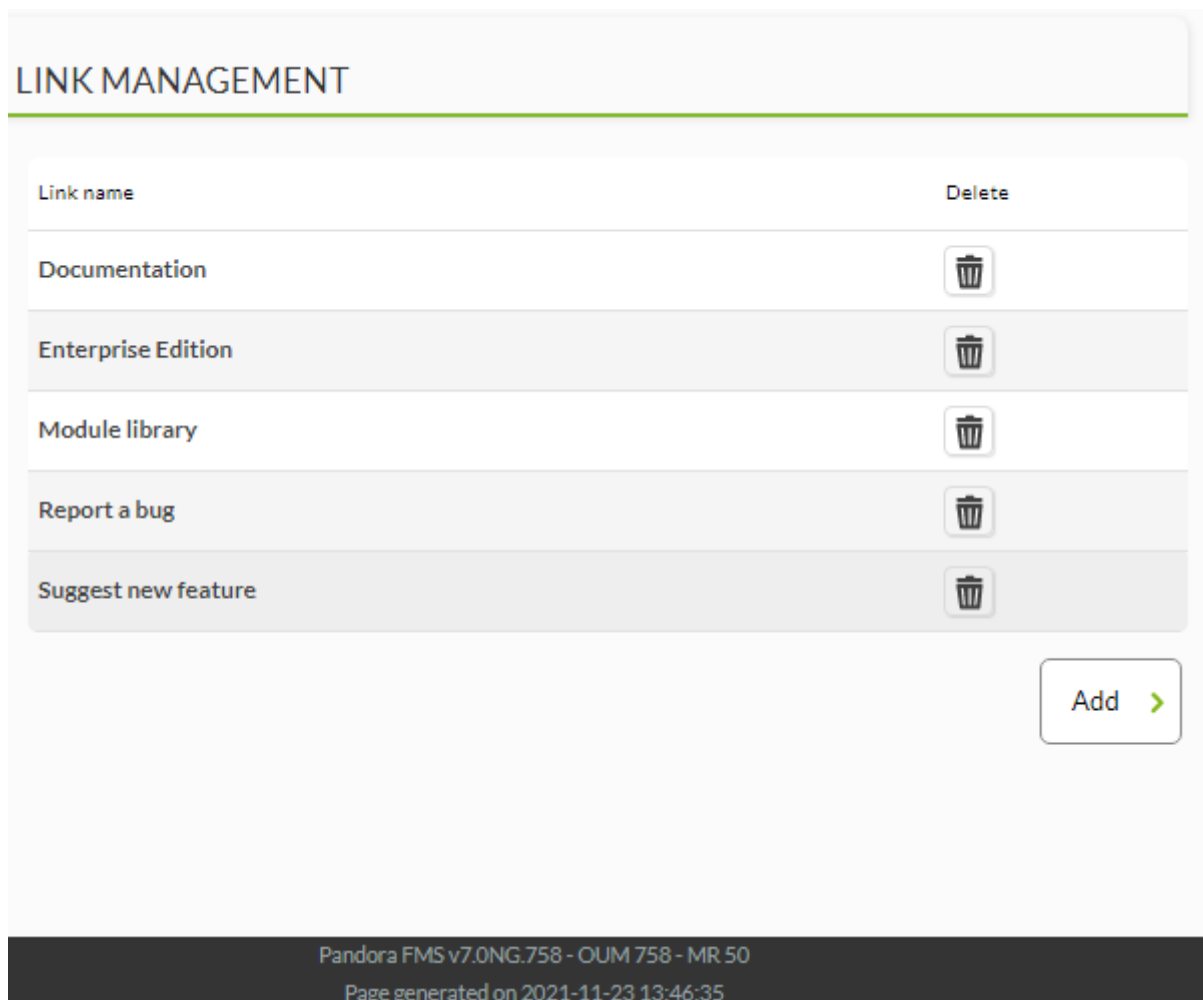
より詳細は、[監査ログ](#)の章を参照してください。

## リンク

管理ツール(Admin Tools) → リンク(Links) をクリックすることによりPandora FMS コンソールのリンク管理ページにアクセスすることができます。例えば、この監視ツールの[新機能の提案](#)などです。



次の画面が表示されます。




作成と更新操作はとても似ています。

新たなリンクを作成するには、追加(Add) をクリックし、値を入力して 作成(Create) をクリックします。

## LINK MANAGEMENT

Link name	<input type="text" value="Pandora FMS blog"/>
Link	<input type="text" value="https://pandorafms.com/blog/"/>




Pandora FMS v7.0NG.758 - OUM 758 - MR 50  
Page generated on 2021-11-23 13:55:41


リンクを更新するには、リンク名をクリックします。編集して 更新(Update) をクリックします。

## LINK MANAGEMENT

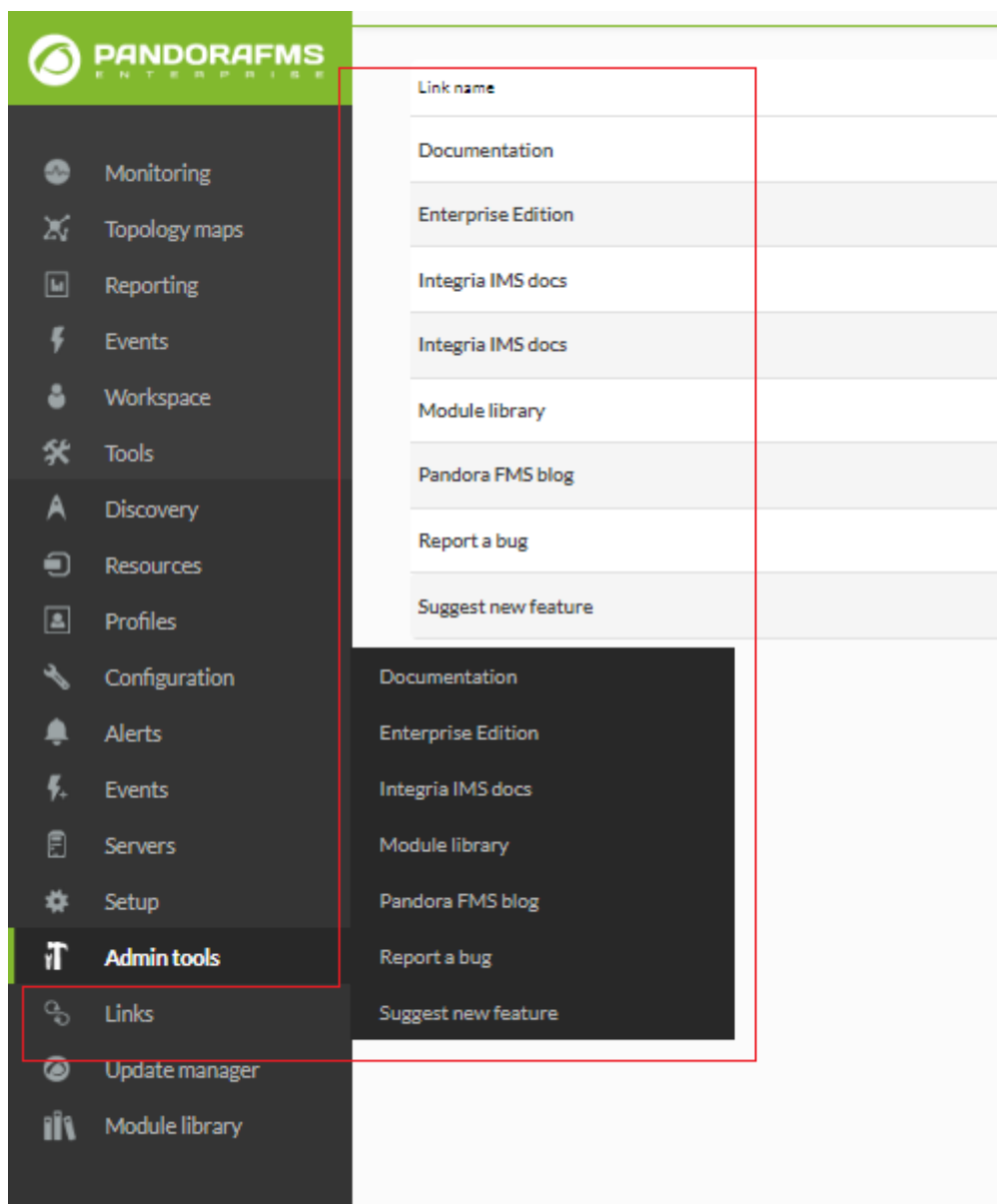
Link name	<input type="text" value="Integria IMS docs"/>
Link	<input type="text" value="https://integriaims.com/docs/doku.php"/>



Pandora FMS v7.0NG.758 - OUM 758 - MR 50  
Page generated on 2021-11-23 13:55:41

リンクを削除するには、リンク一覧から削除したいリンクのごみ箱アイコン  をクリックします。

必要なすべての Web リンクが追加/編集されると、常に左側のメニューに表示され、クリックすると新しいタブで開きます。



## 診断情報

管理ツール(Admin tools) → 診断情報(Diagnostic info) にアクセスすると、現在の Pandora FMS サーバとコンソールの状態を表示します。

**E** There is the option to export in PDF all the information.

**E** すべての情報を PDF でエクスポートするオプションがあります。



The screenshot shows the Pandora FMS Admin tools interface. The left sidebar contains navigation options: Operation, Management, Discovery, Resources, Profiles, Configuration, Alerts, Servers, Settings, Admin tools (selected), System audit log, Links, Diagnostic info (highlighted), Site news, and File manager. The main content area displays 'Pandora FMS Diagnostic tool Admin tools' and a table titled 'MySQL Performance metrics'.

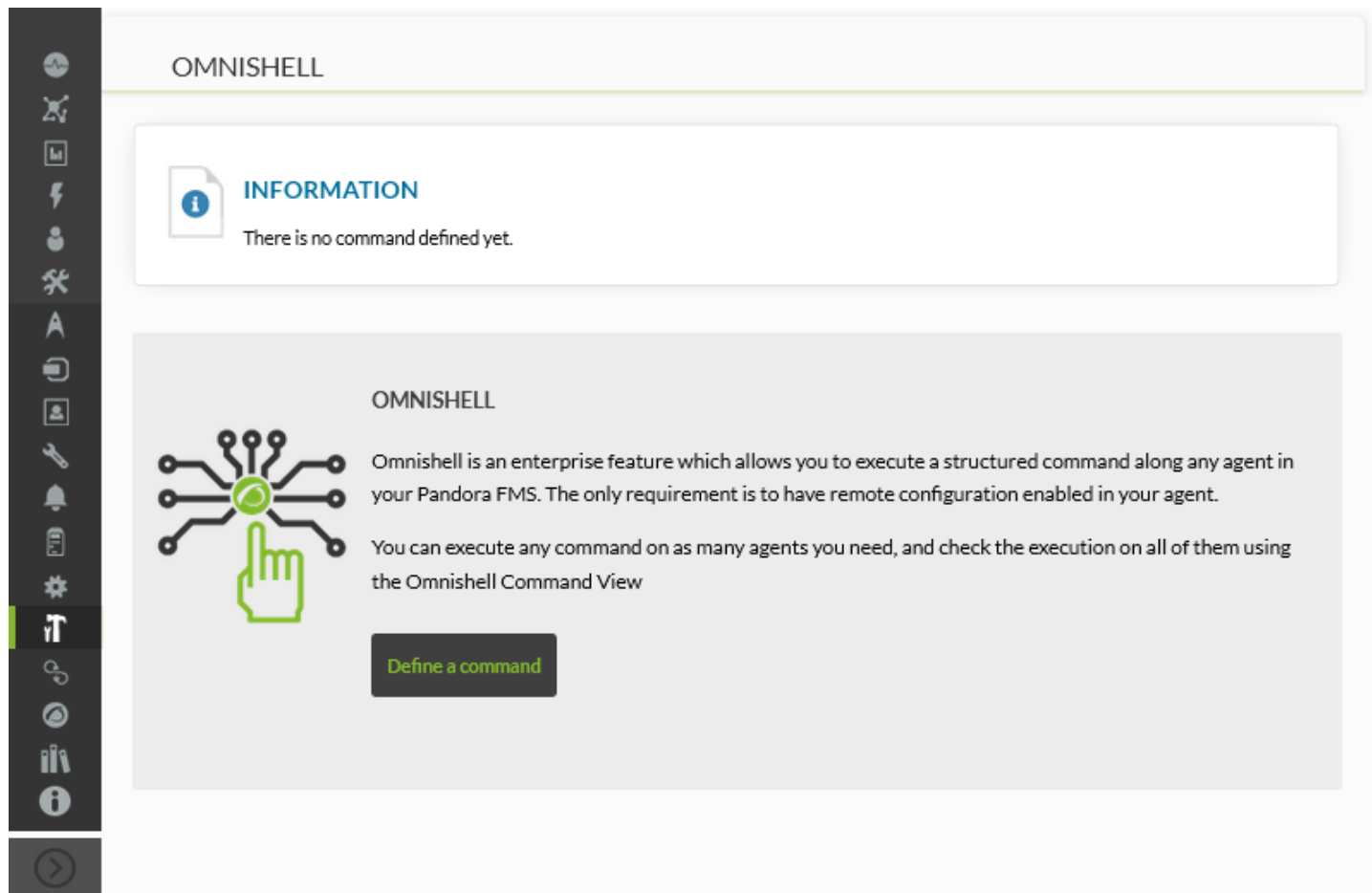
MySQL Performance metrics		
InnoDB buffer pool size	512	It has to be 40% of the server memory not recommended to be greater or less
InnoDB file per table	ON	Recommended ON
InnoDB flush log at trx-commit	2	Recommended Value 2
InnoDB lock wait timeout	120	Min. Recommended Value 90s
InnoDB log buffer size	16	Min. Recommended Value 16M
InnoDB log file size	64	Min. Recommended Value 64M
Maximun allowed packet	32	Min. Recommended Value 32M
Maximun connections	130	Min. Recommended Value 90 connections
Read buffer size	128	Min. Recommended Value 32K
Read rnd-buffer size	128	Min. Recommended Value 32K
Sort buffer size	256	Min. Recommended Value 32K
Sql mode		Must be empty
Thread cache size	120	Min. Recommended Value 8
Thread stack	256	Min. Recommended Value 256

コマンドラインから情報を取得したい場合は、[最適化と Pandora FMS のトラブルシューティング](#)を確認してください。

## Omnishell

**E** バージョン NG 741 以上

Omnishell は IT オーケストレーションと自動化に使用される Pandora FMS Enterprise の機能です。これは Pandora FMS コンソールおよびエージェントに統合された完全にネイティブなツールであり、コマンドブロックのコマンドを定義したり、実行できるターゲットを選択したりできます。詳細については、[Omnishell IT 自動化](#)の章を確認してください。



OMNISHELL

**INFORMATION**  
There is no command defined yet.

**OMNISHELL**

Omnishell is an enterprise feature which allows you to execute a structured command along any agent in your Pandora FMS. The only requirement is to have remote configuration enabled in your agent.

You can execute any command on as many agents you need, and check the execution on all of them using the Omnishell Command View

[Define a command](#)

## IPAM

**E** IPAM 拡張機能を使用すると、担当ネットワークの IP アドレスを管理し、サブネットのホストを検出し、可用性の変化(ping に応答するかどうか)またはホスト名(DNS を介して取得)を検出できます。さらに、その OS を検出することもできます。




より詳細は、[IPAM: IP アドレス管理](#)の章を参照してください。

## サイトニュース

News board

Welcome to Pandora FMS Console

by admin +6 months ago





Hello, congratulations, if you've arrived here you already have an operational monitoring console. Remember that our forums and online documentation are available 24x7 to get you out of any trouble. You can replace this message with a personalized one at Admin tools -> Site news.

Latest activity


管理ツール(Admin Tools) → サイトニュース(Site News) から、ユーザがログインした際にコンソールに表示するニュースを追加することができます。

## MANAGE SITE NEWS

Subject	Type	Author	Timestamp	Expiration	Delete
Welcome to Pandora FMS Console	Board	admin	August 4, 2021, 7:23 pm	No	
New OS	Board	admin	November 6, 2021, 1:25 am	7 days	

Add >

Pandora FMS v7.0NG.757 - OUM 758 - MR 50  
Page generated on 2021-11-23 15:09:22











右側の  をクリックするか、応ずる名前をクリックして作成済のニュースを編集することによりニュースを削除することができます。

新たに作成するには、追加(Add) をクリックします。すると次のページが表示されます。


### MANAGE SITE NEWS

Subject	Group	Modal window	Expire
<input type="text"/>	All	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Text

**B** *I* U |       |  Font Family | Font Size |   

Path: p

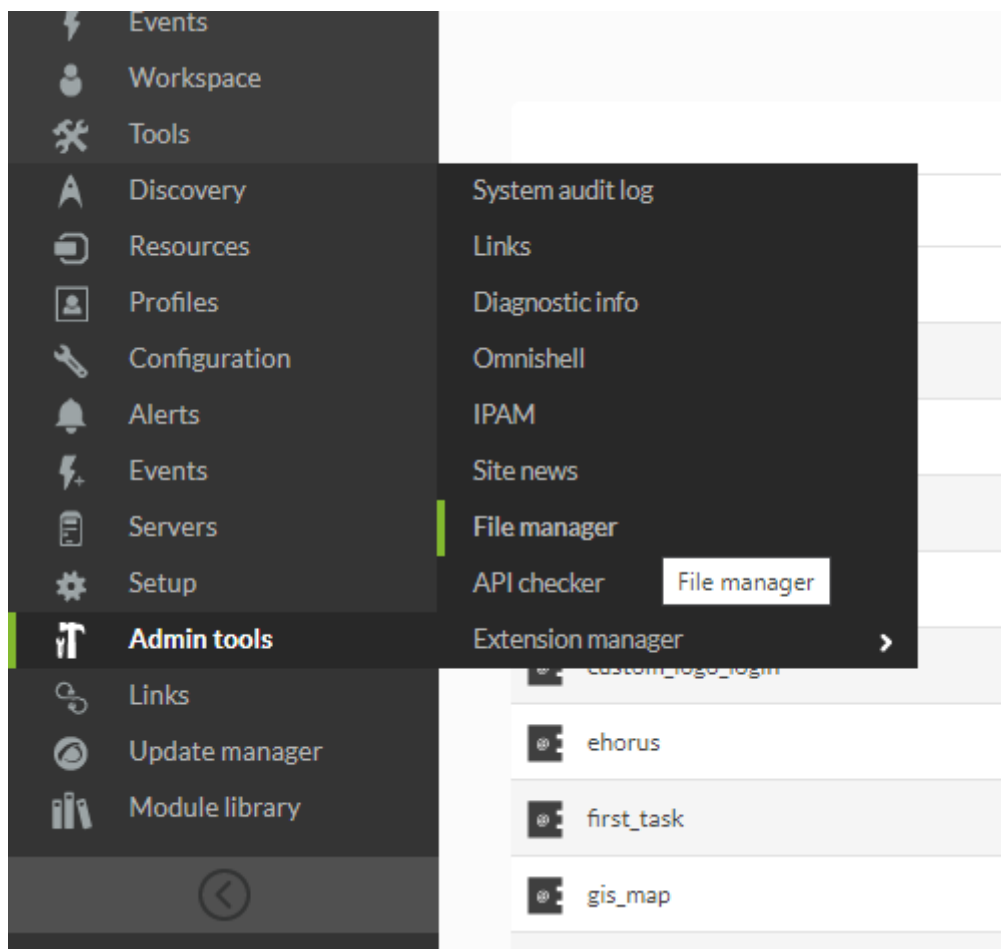
Create 

Pandora FMS v7.0NG.757 - OUM758 - MR.50  
Page generated on 2021-11-23 15:12:04

件名(Subject) に件名またはタイトルを入力し、通知を受け取るグループを選択して、テキスト(Text) に関連情報を入力します(基本的なフォーマットの HTML エディタがあります)。 モーダルウィンドウ(Modal window) を選択すると、ユーザが読んで 閉じる必要のあるポップアップウィンドウにニュースが表示されます。 確認チェックボックス 有効期限(Expire) をチェックして有効期限を追加します。 作成(Create) をクリックして保存します。

## ファイルマネージャ

ファイルマネージャは、Pandora FMS にコンテンツをアップロードするのにとても便利なツールです。管理ツール(Admin Tools) → ファイルマネージャ(File Manager) をクリックすることによりアクセスできます。
















ここではPandora FMS インストールのフォルダ images の全内容が表示されます。

## FILE MANAGER

## Index of images



Index of images			
Name	Last modification	Size	Actions
 backgrounds	February 23, 2021, 5:01 am		
 clippy	February 23, 2021, 5:01 am		
 console	July 1, 2020, 12:03 pm		
 custom_favicon	February 23, 2021, 5:01 am		
 custom_logo	February 23, 2021, 5:01 am		
 custom_logo_login	February 23, 2021, 5:01 am		
 ehorus	June 9, 2021, 8:30 am		
 first_task	June 9, 2021, 8:30 am		
 gis_map	July 1, 2020, 12:03 pm		

- それぞれのファイル名をクリックすることにより、そのファイルをダウンロードできます。
-  アイコンで、ディレクトリをナビゲートします。サブディレクトリを作成することもできます。
-  アイコンをクリックすることによりファイルをアップロードします。画像ファイルは、 アイコンで示されます(GIF, PNG, および JPG フォーマットのみ対応)。
-  アイコンでファイルを削除することもできます。残りは Pandora FMS コンソールによって使用されるシステムファイルです。
- ディレクトリは空の場合のみ削除できます。

ビジュアル コンソールで画像をカスタマイズする場合は、状態ごとに 1 つずつ、4 つの異なる画像が必要です。これらの画像には `<image_name>_<status>.png` という特別な名前を使用します。次のようになります。

- `< image_name >_bad.png`
- `< image_name >_ok.png`

- < image\_name >\_warning.png
- < image\_name >.png (状態なし)

“静的画像” を参照

## ディレクトリの作成

The screenshot shows the Pandora FMS File Manager interface. At the top, it says "FILE MANAGER". Below that, it says "Index of images". In the top right corner, there are two icons: a plus sign in a square (highlighted with a red box) and an upload icon. A modal dialog box titled "Create a Directory" is open in the center. It has a green header with a close button (X). Below the header, there are two buttons: "Create a Directory" (with a plus icon) and "Upload Files" (with an upload icon). A text input field contains the text "subdirectory". At the bottom right of the dialog, there is a "Create" button with a right-pointing arrow. The background shows a table with columns "Name" and "Actions". The table lists several directories: backgrounds, clippy, console, custom\_favico, custom\_logo, custom\_logo\_login, ehorus, first\_task, and gis\_map, each with a corresponding date and time.

ディレクトリの作成ボタンをクリックすると、ポップアップウィンドウが表示されます。作成したいディレクトリ名を入力し、作成(Create) をクリックします。

## ファイルのアップロード

Pandora FMS に保存するファイルの内容については、ユーザの責任です。

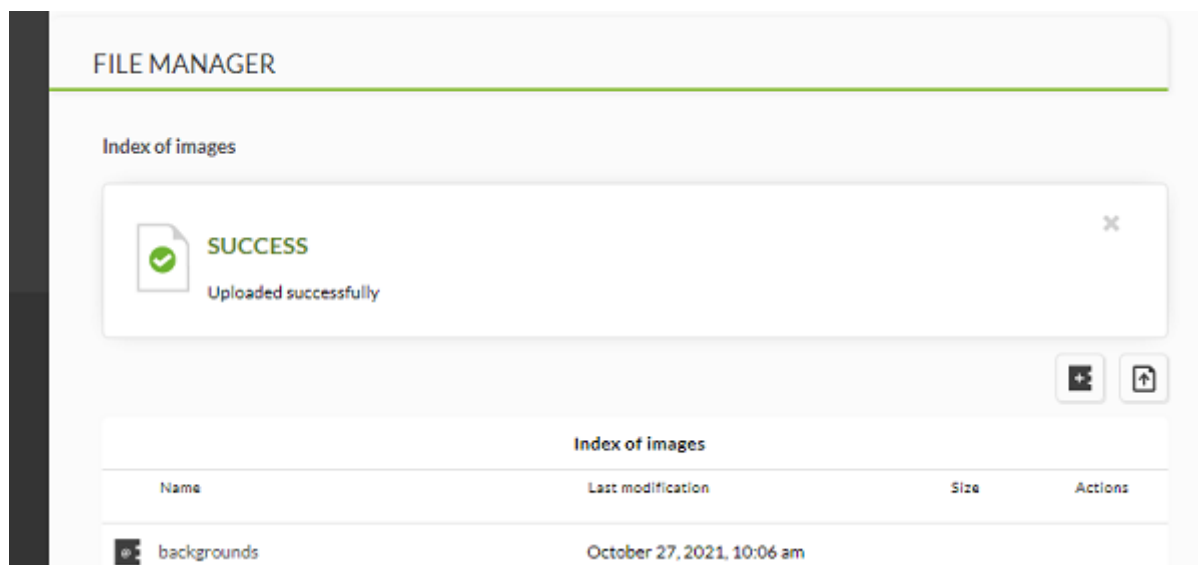
The screenshot displays the Pandora FMS File Manager interface. At the top, the title 'FILE MANAGER' is visible. Below it, the section 'Index of images' is shown. In the top right corner, there are two icons: a plus sign in a square and an upward arrow in a square, the latter of which is highlighted with a red box. The main area contains a table with columns for 'Name', 'Last modification', 'Size', and 'Actions'. A modal dialog box titled 'Upload Files' is open in the center. This dialog has a green header with a close button (X). It contains two buttons: 'Create a Directory' and 'Upload Files'. Below these is a text input field with a 'Browse...' button and the text 'No file selected.' To the right of the input field is a checkbox labeled 'Decompress'. At the bottom right of the dialog is a 'Go >' button. The background table lists several files, including 'ehorus', 'first\_task', and 'gis\_map', with their respective last modification dates.

Name	Last modification	Size	Actions
ba			
cli			
co			
cu			
cu			
cu			
ehorus	October 27, 2021, 10:06 am		
first_task	October 27, 2021, 10:06 am		
gis_map	July 1, 2020, 12:03 pm		

'ファイルの更新(update file)' ボタンをクリックすると、上の画像のフィールドが表示されます。ブラウズ(Browse) をクリックし、ローカルディスクを参照して、アップロードするファイルを選択します。

zip ファイル(.zip 形式のみ)を選択し、解凍(Decompress) オプションを選択して、一度に複数のファイルをアップロードすることもできます。ファイルは解凍され、内部のすべての圧縮ファイルがフォルダー内に表示されます。





アップロードする圧縮ファイルにディレクトリ構造と、それぞれにファイルを含むサブディレクトリが含まれている場合、その構造は `/var/www/html/pandora_console/images/` にも作成されることに注意してください。

## DB スキーマチェック

このチェックは MySQL データベースでのみ実行できます。

これは、現在の Pandora FMS データベースと、正しいデータベースとの間の構造上の違いを確認できる拡張機能です。詳細については、[コンソールの操作と管理](#) の章を参照してください。

## DB インタフェース

これは、データベースでコマンドを実行して結果を確認できるようにする拡張機能です。これは SQL と Pandora FMS データベーススキーマを十分に詳しく理解している人だけが使用できる高度なツールです。詳細は、[コンソールの操作と管理](#) を参照してください。

## DB バックアップ管理

[コンソールタスク](#)を通して、計画的なデータベースバックアップを管理できます。

## PANDORA FMS DATABASE BACKUP MANAGER



## INFORMATION

To schedule a periodic (or one-time) backup task you can do it through [Discovery](#).

## Filter

Path backups

All

Filter

Show 20 entries

Description	Date	Size	Status	Path	Actions
Issue #8421	13 days	74.3 MB	OK	/var/www/html/pandora_console/attachment/backups	
Issue #8421	15 days	80.3 MB	OK	/var/www/html/pandora_console/attachment/backups	
Issue #8421	1 months	-	In Progress	/var/www/html/pandora_console/attachment/backups	

- フィルタ セクションで、パスバックアップのドロップダウンリストから、使用可能なバックアップの場所を選択できます。フィルタ をクリックしてバックアップリストを更新します。
- 対応するボタン を使用して、バックアップをローカルマシンにダウンロードできます。
- 対応するボタン を使用してバックアップを削除できます。
- バックアップを復元するには、対応するボタン をクリックします。

## Elasticsearch インタフェース

**E** バージョン NG 757 以上

## Elasticsearch Interface ?



### WARNING

This is a view to interface with Elasticsearch directly from WEB console. Please note that you can damage your Elasticsearch if you don't know exactly what are you are doing. This view is intended to be used only by users with a knowledge of Elasticsearch .



### Query

```
1 GET _search
2 {
3   "query": {
4     "match_all": {}
5   }
6 }
```

### Results

Execute query >

デフォルトの設定ではPandora FMS は 1日ごとのインデックスを生成します。このインデックスは、Elastic が断片化と配布を行い、何かを検索したときにElastic が断片の場所を認識できるようにします。

この検索を最適化するにはElastic がデフォルトで各検索のインデックスを生成するため、環境内で Elastic ノードと同じ数の検索を設定する必要があります

これらの検索とレプリカは、インデックスの作成時に設定されPandora FMS が自動的に生成するため、この設定を変更するにはテンプレートを使用する必要があります。詳細は、[ログ監視とログ収集](#)を確認してください。

## API チェッカ

Admin tools / Extension manager / API checker

Extensions

**Credentials**

IP  
127.0.0.1

API Token ⓘ

User  
admin

**Call parameters** ⓘ

Action (get or set)  
get

ID

Return Type

Alternate mode  
url\_encode\_separator\_



Custom URL


API チェッカ では Pandora FMS 外部 API を呼び出してチェックすることができます。詳細は、[外部 API の章](#)を確認してください。

## 拡張マネージャ

### 拡張マネージャ表示

拡張機能は、プラグインだけでなく Pandora FMS コンソールの新機能を開発するための方法です。詳細は、[コンソール拡張の開発](#)を確認してください。

管理ツール(Admin tools) → 拡張マネージャ(Extension manager) → 拡張マネージャ表示(Extension manager view) メニューから、関連するアイコン  をクリックすることにより無効化できます。関連するボタン  をクリックすることにより削除することもできます。

File	Version	Enterprise	Godmode Function	Godmode Menu	Operation Menu	Operation Function	Login Function	Agent operation tab	Agent godmode tab	Operation
api_checker.php	v1r1	●	●	●	●	●	●	●	●	 
db_status.php	v1r1	●	●	●	●	●	●	●	●	 
dbmanager.php	v1r1	●	●	●	●	●	●	●	●	 
extension_uploader.php	v1r1	●	●	●	●	●	●	●	●	 
files_repo.php	v1r1	●	●	●	●	●	●	●	●	 
insert_data.php	v1r1	●	●	●	●	●	●	●	●	 

## 拡張アップローダ

拡張機能は、プラグインだけでなくPandora FMS コンソールの新機能を開発するための方法です。詳細は、[コンソール拡張の開発](#)を確認してください。

管理ツール(Admin tools) → 拡張マネージャ(Extension manager) → 拡張アップローダ(Extension uploader) メニューから、拡張をアップロードできます。ファイルは圧縮した .zip フォーマットである必要があります。拡張が gpolicies コンポーネントを利用する場合は、Enterprise 拡張のアップロード(Upload Enterprise extensionn) オプションをチェックします。

ファイルを選択したら、アップロード(Upload) をクリックします。

## UPLOAD EXTENSION

Upload extension  No file selected. i Upload Enterprise extension

Pandora FMS v7.0NG.758 - OUM 758 - MR 50  
Page generated on 2021-11-24 10:47:39

### ファイルリポジトリ管理

ファイルリポジトリ管理では、監視対象のデバイスがダウンロードする必要のあるリソースを配置することをができます。管理ツール(Admin tools) → 拡張マネージャ(Extensionn manager) → ファイルリポジトリ管理(Filie repository manager) から、または ツール(Tools) → ファイルリポジトリ(File repository) からアクセスできます。

このリソースをダウンロードする 1つまたは複数のグループを選択し、ローカルディスクからファイルをアップロードします。公開する必要がある場合は、公開リンク(Public link) チェックボックスをオンにします。追加(Add) をクリックして、アップロード処理が完了するのを待ちます。

FILE REPOSITORY MANAGER
👁️ ⚙️

---

**Groups** × Applications

**Description** ⓘ Sumatra PDF is a free and open-source document viewer that supports many document format.

**File** Browse... SumatraPDF...64-install.exe Public link  Add +

SumatraPDF-3.3.3-64-install.exe

Pandora FMS v7.0NG.758 - OUM 758 - MR 50  
 Page generated on 2021-11-24 12:46:41

その後、さらに追加のファイルをアップロードできるようになります。以下に、アップロードされたファイルが一覧表示されます。

FILE REPOSITORY MANAGER
👁️ ⚙️

---

**Groups** Please select...


**Description** ⓘ

**File** Browse... No file selected. Public link  Add +

Total items: 1

Name	Description	Size	Last modification	
SumatraPDF-3.3.3-64-install.exe	Sumatra PDF is a free and open-s...ports many document formats ⓘ	7.0 MB	November 24, 2021, 12:57 pm	🌐 📄 🔧 🗑️

各ファイルの公開リンクを共有するには、アイコン  をクリックし、Web リンクをコピーして貼り付けます。

同じ Pandora FMS コンソールの別のオペレーターが別のコンピューターを使用している場合、 をクリックしてダウンロードできます。

ファイルが不要になった場合は、 ボタンで削除します。

## ネットワークツール設定

“ コンソール管理 ” の [ネットワークツール](#) を確認してください。

## システムログファイル

“ コンソール管理 ” の [ローカルサーバログ](#) を確認してください。

## グループ CSV インポート

**E** “ コンソール管理 ” の [CSV からのグループのインポート](#) を確認してください。

## アップデートマネージャ

この機能は、[アップデートマネージャを使ったコンソールのアップデート](#) にて説明しています。

## リソース

### オペレーティングシステム

ここでは OS の作成 編集が可能です。 リソース(Resources) → オペレーティングシステム(Operating systems):




























Servers / Edit OS

## LIST OF OS



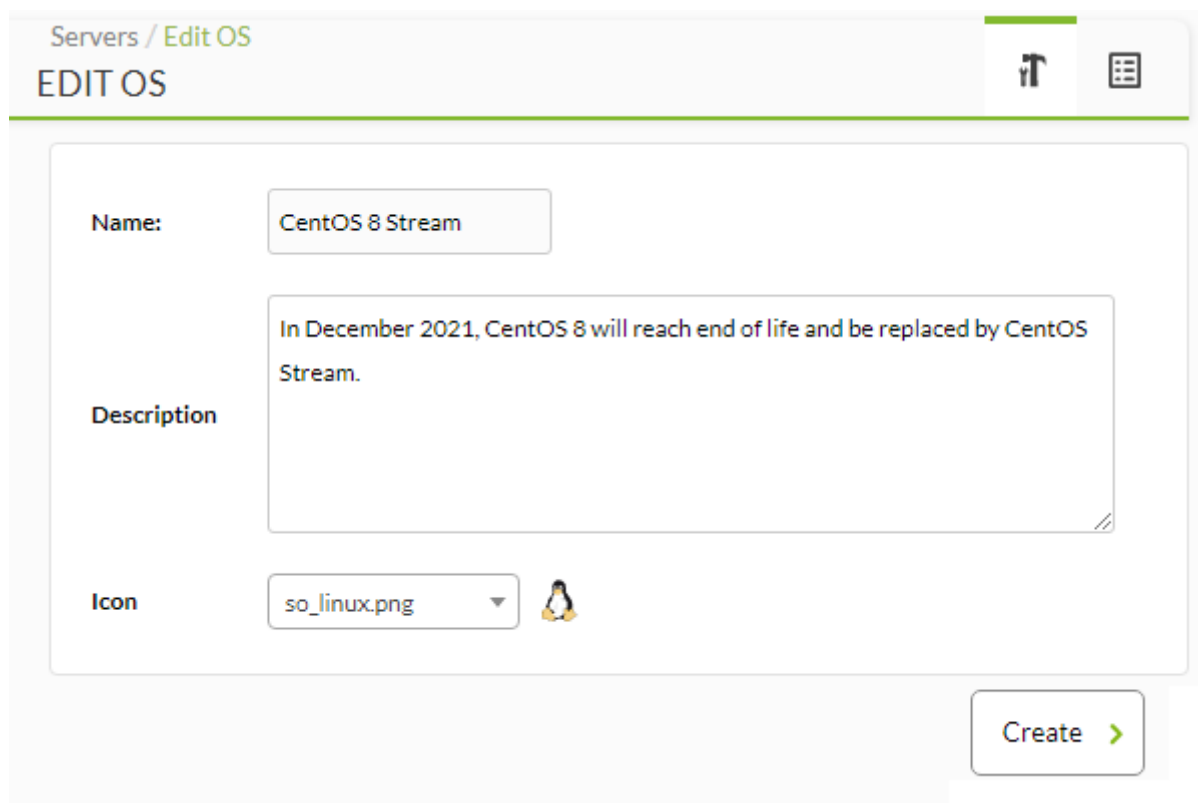
Total items: 20

ID	Name	Description	
 1	Linux	Linux: All versions	
 2	Solaris	Sun Solaris	
 3	AIX	IBM AIX	
 4	BSD	OpenBSD, FreeBSD and Others	
 5	HP-UX	HP-UX Unix OS	
 7	Cisco	CISCO IOS	
 8	MacOS	MAC OS	
 9	Windows	Microsoft Windows OS	
 10	Other	Other SO	
 11	Network	Network Agent	
 12	Web Server	Web Server/Application	
 13	Sensor	Hardware Agent (Sensor)	
 14	Embedded	Embedded device running an agent	
 15	Android	Android agent	
 16	VMware	VMware Architecture	
 17	Router	Generic router	
 18	Switch	Generic switch	
 19	Satellite	Satellite agent	
 20	Mainframe	Mainframe agent	
 100	Cluster	Cluster agent	

Total items: 20



OS を作成または編集するには、次の画面を利用します。




Servers / Edit OS

## EDIT OS

Name:

Description:

Icon:  

Create >

以下にフィールドの説明を示します。

- 名前(Name): OS の名称です。
- 説明(Description): OS のテキストでの説明です。
- アイコン(Icon): OS を表すアイコンです。

[Pandora FMS ドキュメント一覧に戻る](#)